

御意見・御質問一覧と回答

〈 32名 116件〉

【留意事項】

- ① いただいた御意見・御質問は届いた順に、全て、そのまま掲載しています。
- ② 個人情報保護の観点から、御意見・御質問をいただいた方の個人名ではなく、町会名と番号で表示しています。
- ③ 同種の御質問に対しては同様の回答となっており、相互参照して見やすくするため、回答の引用のみとさせていただきます。

(提出者内訳)

浜田ニュータウン町会 : 15名

浜田青葉台町会 : 17名

(参考) 板橋町会 : 1名

【浜田ニュータウン①】

<質問1>

施設が住宅街に建設されることから、新病院の建設過程～運用後までにわたり、居住住民への騒音（特に新病院運用後の夜間の緊急車両とヘリコプター）やラッシュ・積雪時の交通障害などの被害が生じないようにするための具体的な方策をお聞きしたい。

<質問2>

スケート場とサンドームの代替施設の建設計画についてお伺いしたい。

特にサンドームについては、1階の土グラウンドや2階の筋トレ部屋・1周300メートルの屋内ランニングコースなど、雨天時の幼稚園等の運動会場、高齢者の健康増進や児童・生徒の野球・サッカーの練習場・試合会場として、他には得難い重要な施設になっている。

古い施設は、新しい施設が完成するまでは、使用できるように特段の御配慮をお願いしたい。新施設の建設場所、現施設の解体時期及び新施設の開業時期をお知らせ願いたい。

【浜田ニュータウン①】

【回答】

《騒音対策》

(工事期間)

工事に伴う騒音・振動等の発生対策期間としては、県営スケート場及びサンドームの解体工事、統合新病院の整備工事の期間として想定される令和9年度から令和14年度春頃までの5年3ヶ月程度と現時点では考えています。

建設工事や解体工事に伴う騒音、振動等については、騒音規制法や振動規制法による制限を遵守して実施します。

統合新病院の整備に当たっては、これらの規制を遵守するのももちろんのこと、工事着工前に現場周辺を十分に調査し、周辺環境に適した工法を選択すること、また、近隣住民に対し、工事の概要、作業工程、作業時間、工事車両のルート、騒音・振動の防止方法等について事前に説明すること、解体工事については特に粉じんが発生するため、水をまきながら行うことなど、これらの対策を徹底し、丁寧に事業を進めていきたいと考えています。

(救急車)

救急車のサイレンの音量については、法令により「救急用自動車前方20メートルの位置において、90デシベル以上120デシベル以下」とされています。

消防が保有する全ての救急車については、消防署からの出動時や閑静な住宅地、または夜間の走行等、出動地域や出動時間帯に応じてサイレンの音量を抑えたい場合に使用する「弱モード、または住宅モード」と呼ばれる切り替えスイッチを導入しています。

また、令和6年度に導入した救急車については、新サイレン音として低音を基調とした和音で合成された「コンフォートサイレン」を装備し、従来のサイレンに比べ救急車の接近が認知されやすいほか、不安感を低減する効果が期待されており、来年度以降に導入する救急車についても装備を検討しているところです。

これらの装置を状況に合わせて切り替えて使用することで、安全性を確保しつつ、傷病者やその家族に限らず、周辺の地域住民にも配慮した救急活動が可能であると考えています。

【浜田ニュータウン①】

【回答】

≪騒音対策≫

(ドクターヘリ)

ドクターヘリの出動時間は、青森県ドクターヘリ運航要領において定められており、原則として、年間を通じて午前8時半から午後5時まで（ただし、午後5時前に日没する場合には、日没まで）としています。

ドクターヘリから生じる騒音について、立体駐車場の屋上ヘリポートの高さを約22メートル、ヘリポートから約100メートル離れた屋外を観測地点とした場合、発生する騒音レベルは、ヘリポート離着陸時に約73デシベル、直上通過時に約83デシベル、さらに100メートル通過時に約72デシベルとなります。

なお、一般住宅の室内では壁や窓があることから、騒音レベルは、20～30デシベル低減して60デシベル程度となります。また、この騒音イメージは航空法上の8分の1勾配の高度となっておりますが、実際の運航では4分の1勾配と更に高く飛ぶことから、騒音レベルは低くなります。

騒音として感じる時間は、離着陸時の平均速度が約55キロメートルとなるため、13秒程度となります。

現在の県病ドクターヘリの出動回数は、令和5年度全体で315回、内訳として、1日1回出動115日、2回出動55日、3回出動26日、4回出動が3日、出動した日は199日、出動しない日は166日となっております。

現在の県病では、近隣住民からドクターヘリの騒音に関して苦情は寄せられていません。

(参考)

○サンドーム地点の昼間の屋外 55デシベル（令和4年度青森市環境騒音調査）

○資料4-1参照

【浜田ニュータウン①】

【回答】

《渋滞対策》

(渋滞全般)

病院整備による交通への影響については、5年に1度全国的に主要幹線道路の交通量等の調査を行う交通センサスの最新となる令和3年のデータに加え、より正確・詳細に現状把握やシミュレーションを行うため、昨年10月に周辺5箇所では交通量、自転車・歩行者量の調査を行った結果を反映して推計を行っています。

今回の推計では、1日の交通容量のみではなく、浜田地区の交差点において、歩行者、自転車の影響やバス、信号機の動きを反映し、統合新病院が移転することにより通勤・通院の車両が増加し最も影響が大きくなる時間帯である8時台において、シミュレーションも実施しており、シーナシーナ前の路線から統合新病院に右折する（浜田字豊田）交差点及び環状7号から右折する（運輸支局前）交差点において、右折車両の滞留が右折車線を超過し、直進車両を阻害する課題が確認されたところです。

このため、右折レーンの延伸、信号現示の改良等の対策を講じたところ、課題が解消される結果となったことを踏まえ、今後、右折レーン設置・延伸等、必要な対策を講じていきたいと考えています。

また、冬期間の通行確保としては、道路幅の確保等を行う除排雪の徹底が主要な対策になると考えています。このため、冬期に交通量調査を実施することは想定していません。

(除排雪)

積雪時の交通について、救急車や乗合バスが通行する路線は、その運行に支障がないように交通の確保を図るため、統合新病院周辺の除雪については、現在の県病周辺と同様きめ細かに実施することになります。

【浜田ニュータウン①】

【回答】

《県営スケート場の移設》

県営スケート場については、令和8年に開催される「青の煌めきあおもり国スポ」の競技会場（ハンドボール・スポーツクライミング）となっているため、現時点では、大会終了後に解体工事を発注・契約し、令和10年3月までに解体工事を終える予定としています。具体的なスケジュール及び事業費については、来年度に実施予定の解体設計において検討していきます。

《サンドームの移設》

サンドームについては、青い森セントラルパーク地区に移転整備することを基本とすること、代替施設が完成・移転後に解体工事に着手することとしています。

新施設の整備については、令和7年度に、新たなサンドームに必要な機能や規模、スケジュールについて検討を進めていくこととしており、今後、県や関係団体等と連携するとともに、統合新病院の整備にかかる検討状況も見極めながら準備を進め、来年度中にはお示ししたいと考えています。

【浜田ニュータウン②】

現在、特に問題にされている整備場所についてですが、昨年5月まではセントラルパークで決定していたと思いますが、6月14日に宮下知事が西市長に対してスケート場の周辺地区を対象にすることを伝え、9月16日には知事と市長の会談で候補地として決定しています。3か月という短期間で候補地を変更したことは現在のスケート場周辺で生活している住民の立場を考慮せず又、決定まで事前の説明会の開催も行われておらず、決して納得のゆく進め方ではありません。

個人的にはセントラルパーク周辺も住宅街であり、新駅が開業する予定があるとはいえ、交通アクセスやドクターヘリが市街地に発着する騒音や事故のリスクを考えると最適な場所とは思えません。

話は戻りますが、スケート場やサンドーム、浜田中央公園は土地が県有地や市有地であり、用地買収をする必要がないとのメリットだけで安易に決定したのではないのでしょうか？

浜田地区の住民が候補地として反対している理由は住民説明会にて何度も意見が出ている通り、下記の要因があります。

①候補地の面積は88,500㎡だが、浜田中央公園が30,000㎡であり、実際に利用できる面積は58,000㎡あまりとなる。

現在の県立中央病院の面積と比べ、青森商業高校跡地を含めると狭い。

将来的に新病院の拡張が必要な場合は場所の確保が厳しいため、さらに広い面積がある候補地が望ましい。

②スケート場、サンドームの周辺住民の造成に係る地盤沈下、騒音などに不安がある。

市街地から少しでも距離が離れた場所に確保するべきである。

③同様に新病院が稼働してからも9階の建物の日照問題、救急車両のサイレン、ドクターヘリの騒音、土ぼこりでの被害、ドクターヘリの市街地発着における事故のリスクがある。

④近くに多くの大型商業施設があり、朝から夕方まで青森市内でも有数の交通渋滞エリアである。

特に冬場の降雪の多い時期には大渋滞しており、救急車両が侵入するのも難しいと思われる。

⑤候補地のサンドーム東側が救急車両、歩行者、一般車両、バスの入り口になっており東側の都市計画道路の市道拡幅が必須だが今現在も住宅が建っており、用地買収が今後できるかどうか不透明である。

【浜田ニュータウン②】

⑥周辺に調剤薬局を確保する場所がないため、患者も病院近くで薬を貰うのが困難である。

以上のことを踏まえ、ハザードマップや交通アクセス、渋滞状況を再検討して候補地を再度、白紙に戻して検討して頂きたい。

住民説明会でも再三、提案のありました環状線の南側エリアを含めて検討してください。

民有地であり地権者への交渉は必要ですが、田園エリアであり住宅地もないため将来的にも拡張しやすいと思います。（八ツ役エリア、荒川藤戸エリアなど）

岩手県の岩手医科大学付属病院（1,000床）は2019年に盛岡市の市街地から盛岡市の南側の矢巾町の田園エリアに移転しています。参考にしてください。

【浜田ニュータウン②】

【回答】

《広い面積がある候補地がのぞましい》

基本計画（案）の敷地利用計画は、統合新病院としての機能確保と浜田中央公園の機能維持の2つを両立させることを前提としています。

その上で、県営スケート場及びサンドームが立地している敷地東側に、病院棟、立体駐車場及び院内保育所等の病院機能を集約の上、できる限り住宅から離して日照権やドクターヘリの騒音等にも配慮しつつ、利便性が高い配置としています。

また、県営スケート場及びサンドーム敷地内に将来の拡張性も考慮し、余裕スペースとして平面駐車場や緑地等を設けるとともに、積雪を考慮し、堆雪場などを適切に設ける計画としており、必要十分な面積となっています。

《地盤沈下対策》

県営スケート場やサンドームの解体工事では、地盤の変異やゆるみが生じないように既存建物で使用している杭を極力残すとともに、解体建物の周囲の地中に連続して鋼矢板を打ち込み、周辺建物等に影響を与えない対策を講じることとしています。

病院棟の新築工事では、免震構造となるため、地盤を約4～5メートル掘削する必要があります。また、地下水位も高いことから止水性の高いセメントと土を混合した壁で土留めするとともに、それを支えるための鉄骨の梁を設置し、地盤の掘削時になるべく地下水が発生しない施工方法を採用し、地盤沈下の原因となる地下水の流出を少なくし、地盤沈下が起こらないよう対策したいと考えています。

また、工事前後に整備候補地周辺の建物の傾きやひび割れなどの状況について建物調査を行い、工事に伴う影響の有無を確認することとしています。なお、その調査結果は建物所有者と病院側双方で保管することとなります。

建物調査の範囲については、建物位置や杭の長さなども関係することから、設計時に専門家の意見を伺い、設定した上、説明会を開催したいと考えています。

【浜田ニュータウン②】

【回答】

《日影・景観対策》

日影規制については、建築基準法に定められており、日影が一番長くなる冬至において、敷地境界線からの水平距離が5メートルから10メートル以内の部分に4時間以上の日影を、10メートルを超える部分に2.5時間以上の日影を生じさせないように対策を講じた設計・施工をしなければならず、これを遵守していきます。

現時点での内容については参考資料4-3のとおりです。

《騒音等対策》

(工事期間中)

工事中の騒音対策については、2ページに記載のとおりです。

(ドクターヘリ)

ドクターヘリの騒音対策については、3ページに記載のとおりです。

(風の影響)

ドクターヘリの離着陸における吹き下ろし風（ダウンウォッシュ）の影響については、住宅のある約100メートル地点で高度が約33メートルとなり、地上では風速1～3メートルの微風程度であり、ほとんど影響ないものと考えています。

なお、この風速の目安としては、顔に風を感じたり、木の葉が動く程度となります。

実際の運航ではこれよりも少し高く飛ぶこととなるため、影響はさらに少なくなるものと考えています。

なお、現在の県立中央病院においては、近隣住民から吹き下ろし風に関して苦情は寄せられていません。

【浜田ニュータウン②】

【回答】

《騒音等対策》

(救急車)

救急車のサイレンについては、2ページに記載のとおりです。

《ドクターヘリの事故リスク》

青森県ドクターヘリ運航要領等により、安全に離着陸が可能な気象状態であること、離着陸の間、関係者以外の人及び車両が接近できない状況であること、ダウンウォッシュにより、人及び物件に危害を及ぼさない状況であること等の安全運航に係る規定を定め、遵守しており、搭乗している患者、医師、看護師、乗組員の安全を確保するとともに、飛行の安全を万全にしています。

《渋滞対策》

(渋滞全般)

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

(混雑時の救急搬送)

浜田地区は、周辺に国道103号（観光通り）や県道120号（中央大橋通り）、環状7号バイパスなど幅員の広い道路が多いことや、病院敷地内に進入するための救急車搬送経路を複数設ける予定となっており、観光通りや中央大橋通りから、シーナシーナ青森に曲がる交差点をはじめ、浜田地区周辺が渋滞している場合であっても、各救急隊長の判断で、環状7号バイパスへ迂回できることから、渋滞による影響は、最小限に抑えることが可能であると認識しています。

【浜田ニュータウン②】

【回答】

《渋滞対策》

(除排雪)

積雪時の交通については、4ページに記載のとおりです。

(市道拡幅)

●計画道路拡張について

都市計画道路3・4・23号浜田豊田線について、まだ事業化していないため、付近住民への整備に関する説明会等はありません。

一般的に、道路整備において、事業化が決定し、ある程度の具体的な整備計画が整った時点で、付近住民への説明会を、用地取得や移転補償に伴う地権者への説明は、詳細設計や用地測量を行って、その詳細が決まるので、その時点において用地説明会を行っています。

当該路線は、地域の幹線道路であること、近隣小中学校の指定通学路になっているため、整備の必要があるとの判断から、都市計画道路として計画しており、平成7年度の計画決定時の説明については、都市計画法等に基づいて、当時、説明会等を開催しています。

また、計画決定以降に土地売買を行った方は、契約時に不動産業者等から説明されているものと認識しています。

整備に係る用地買収については、これまでの街路整備事業と同様、丁寧交渉し、任意による契約締結ができるよう努めていきます。

【浜田ニュータウン②】

【回答】

《調剤薬局の整備スペース》

調剤薬局については、各民間事業者が必要な対応をしていくことになります。

なお、国においては、かかりつけ薬局を推進していることから、病院としては、処方箋ファックスコーナーの設置や、個人の健康・医療に関わる情報を活用したかかりつけ薬局との連携など、国の施策に沿った対応を行っているところです。

《新たな整備候補地（環状線南側エリア）の検討》

民有地については、青森市の検討会議において、まとまった敷地面積を確保するため、農地の取得などが検討されていたところですが、ほ場整備した農地の転用制限などがあり、また、そもそも私有地であって、多数で広範囲な地権者の合意が必要になりますので、取得までかなりの期間を要することが指摘されていたところです。

また、青森市においては、まちづくりの観点から、都市機能誘導区域や生活拠点区域に病院など高次な都市機能の集積を図ることとしており、そうした考え方を踏まえて整備場所の検討が進められてきたところです。

県としても、民有地の可能性について検討したところですが、

○病院建設に必要な面積を考慮した場合、地権者が多く、相続などの可能性もあり、取得までの確実な期間を算出することは困難であること

○県立中央病院や青森市民病院の耐用年数や老朽化を踏まえると、診療機能に影響するおそれがあり、早期の対応が必要なこと

○青森中央インターチェンジ南側の民有地については、洪水浸水想定区域となっているほか、青森市におけるまちづくりの考え方に配慮する必要があること

などを総合的に勘案して、民有地を整備候補地とすることは現実的ではないと判断したものです。

【浜田ニュータウン③】

患者だけでなく地域住民も利用できるバスターミナル・タクシープールを整備してほしい。

病児保育も行う院内保育所については、地域住民も利用可能とするようにしてほしい。

浜田中央公園は、当地域の浸水時を除く大規模災害時には、複数のヘリや救急車が待機でき、また、医療用大型テントが設置でき、統合新病院までの通路確保を行うように整備したほうが良い。

【回答】

《バスターミナル・タクシープールの整備》

病院敷地内には、周辺住民も利用可能なバスターミナル・タクシープールなどを整備することとしています。

こうした取組を通じて地域の住民の皆様の生活環境の向上を図っていきたいと考えています。

具体的には、今後、関係機関と協議し整備することになります。

《院内保育所の地域住民利用》

現時点では、職員を対象に考えていますが、地域住民からのニーズ等を踏まえ、受入れについて検討したいと考えています。

《浜田中央公園との連携》

浜田中央公園は現在も指定緊急避難場所に指定されており、基幹災害拠点病院である統合新病院の整備を機として、更に防災機能を強化することは重要な御意見と考えており、今後、関係機関と協議していきます。

【浜田ニュータウン④】

(アクセスについて)

①公共機関について

- ・バス路線はどうか。
- ・駅はできるのか。

以上2点については、新病院に車で来る人ばかりではないと思う。交通手段が課題なのでは。

②バイパスが渋滞すると考えられるがどのような対策を講ずるか具体的に示して欲しい。

【回答】

《バス路線の整備》

市営バスが運行する路線や便数については全体のダイヤ編成の中で、全路線の利用状況や今後の需要、運行効率等を踏まえ、より利便性が高く効率的に運行できるよう総合的に勘案しながらダイヤを編成しています。

バス路線等については、今後、病院施設や周辺整備などの設計業務が進められ、市営バスの具体的なアクセスを検討できる状況となった時点で、統合新病院を経由するバス路線など、住民の皆様の利便性も考慮した上で検討していきます。

【浜田ニュータウン④】

【回答】

《青い森セントラルパークへの新駅整備》

新駅については、今後「まちづくりビジョン」の中で示される操車場跡地周辺の施設整備計画などを踏まえて整備を検討することとしています。

《外環状線の渋滞対策》

(渋滞全般)

渋滞対策については、2ページに記載のとおりです。

浜田地区住民の御意見・御質問一覧

【浜田青葉台①】

サンドーム周辺で生活している私達は、ここに病院が建設される事により、周辺の環境が変化する事に懸念を持っています、交通渋滞、騒音、地盤沈下、その他等

この基本計画（案）の16ページ イ（イ）液状化・地盤沈下対策 の項について質問します。

- ①周辺地盤や建物等の範囲はどこまでなのか、地質調査の結果に基づき決定後、説明会を開催する事
- ②現況の確認は、工事前後だけでなく、完了後も長期間必要です、工事が完了したから、地盤沈下は起きない訳ではない、この事から完了後の確認期間を明示すること（参考として専門家の意見も記入してもらいたい）
- ③確認した結果の保存は何年か、また、私達にも提供されるのか。

【回答】

《地盤沈下対策》

- ① 建物調査の範囲については、建物位置や杭の長さなども関係することから、設計時に専門家の意見を伺い、設定した上で、住民の皆様に対しての説明会を開催したいと考えています。
- ②③ 工事前後に整備候補地周辺の建物の傾きやひび割れなどの状況について建物調査を行い、工事に伴う影響の有無を確認することとしています。なお、その調査結果は建物所有者と病院側双方で、期限を定めることなく、必要な期間保管することとなります。
また、工事後、相当期間が経過した後に地盤沈下が発生した場合には因果関係を調査した上で判断するものと考えています。

【浜田ニュータウン⑤】

- ①三村知事在任中では新病院の建設場所としてセントラル・パークを候補に議論を重ねておきながら何故急に浜田地区へと変更したのか？
有識者の意見からはセントラル・パーク、浜田地区どちらでも同じとの意見もあることもあり何故なのか知事に答えていただきたいです。
- ②浜田地区は商業施設が多く 十分なスペースがあるとは思えない。浜田中央公園は元々建設に適さない場所でありながら整備候補地面積の中に組み込まれている理由を知事に答えていただきたいです。
- ③病院整備場所の候補地の住民を議論に参加させないどころか 住民によるアンケートなども無視し決定する理由を知事に答えていただきたいです。
- ④災害に強い病院ということですが災害が起きた場合この病院近隣の住民の避難先はどこでしょうか。
知事に答えていただきたいです。
- ⑤ドクターヘリは1日一回くらいと説明されていましたが 冬は飛ぶ回数が少ないわけですし 1日一回くらいではないはずです。
もっと丁寧な説明すべきです。
- ⑥ここに病院ができて良かったと思うはずと知事はTVのインタビューでおっしゃっておられましたが近隣の住民は全く思わないと思います。納得できる説明をお願いします。

【浜田ニュータウン⑤】

【回答】

≪整備候補地決定の経緯①≫

統合新病院の整備場所については、令和4年8月に取りまとめた「共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項」において、「旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地」、「青森県総合運動公園」、「青い森セントラルパーク」の3か所を検討対象地とし、県と青森市の関係部局長で構成する「共同経営・統合新病院整備調整会議」において検討が進められていたことから、「青い森セントラルパーク」のみを候補地として検討してきた事実はありません。

その後、令和5年9月からは、統合新病院の整備場所について、多くの県民の皆様に御納得いただける形で検討が進められるよう、その検討過程をできるだけオープンにするため、「共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議」を新たに設置し、その御意見も踏まえながら検討を進めることとしました。

また、統合新病院の整備場所については、医療従事者、患者やその家族など多くの方が集まる拠点となり、まちづくりの観点等からの検討が重要であることから、まずは青森市において主体的に検討を進めてきたところであります。

青森市においては、「青森市統合新病院整備場所等検討会議」を設置し、3か所の検討対象地に限らず、幅広く、外環状線周辺エリアについても検討したところでした。したがって、どこかの場所ありきで議論が進められてきた事実はなく、3か所の検討対象地と外環状線周辺エリアについて検討が進められていたものであります。

青森市の検討会議では青い森セントラルパークが望ましいとする声が多かった一方、有識者会議の多くの構成員から青い森セントラルパークの交通アクセスに対する懸念が示され、外環状線周辺エリアについて、民有地に限らず、公有地も含めて検討対象となりうる場所がないか検討し、具体的な場所があるのであれば、青い森セントラルパークと比較するよう求めがあったものです。

有識者会議の意見を踏まえ検討した結果、「浜田中央公園・県営スケート場周辺」については、県営スケート場やサンドームの築年数が相当程度経過し、大規模な改修又は建替え等の時期を迎え、このことに相当多額の経費が掛かることから、施設の移転等と一体で進めることにより、県としては検討対象となりうるものと考えたものであります。

(参考) ・県営スケート場：39年経過（耐用年数45年）

・サンドーム：32年経過（耐用年数34年）

【浜田ニュータウン⑤】

【回答】

≪ 整備候補地決定の経緯② ≫

その後、どの検討対象地が望ましいかという意見については、青森市の検討会議においては、青い森セントラルパークが5人、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地が3人、浜田中央公園・県営スケート場周辺が1人、青い森セントラルパーク又は浜田中央公園・県営スケート場周辺が2人、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地又は浜田中央公園・県営スケート場周辺が1人であったのに対し、有識者会議においては、浜田中央公園・県営スケート場周辺が9人、青い森セントラルパークが3人、青い森セントラルパーク又は浜田中央公園・県営スケート場周辺が1人、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地又は浜田中央公園・県営スケート場周辺が1人となり、様々な意見がありました。

最終的には、県と市の協議及び知事と市長の会談において、大規模災害時の基幹災害拠点病院としての機能を最優先させ、浜田中央公園・県営スケート場周辺を整備候補地としたものです。

	検討会議	有識者会議
浜田中央公園・県営スケート場周辺	1人	9人
青い森セントラルパーク	5人	3人
旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地	3人	0人
青い森セントラルパーク又は浜田中央公園・県営スケート場周辺	2人	1人
旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地又は浜田中央公園・県営スケート場周辺	1人	1人

【浜田ニュータウン⑤】

【回答】

《面積が狭いのでは》

基本計画（案）の敷地利用計画は、統合新病院としての機能確保と浜田中央公園の機能維持の2つを両立させることを前提としています。

その上で、県営スケート場及びサンドームが立地している敷地東側に、病院棟、立体駐車場及び院内保育所等の病院機能を集約の上、できる限り住宅から離して日照権やドクターヘリの騒音等にも配慮しつつ、利便性が高い配置としています。

また、県営スケート場及びサンドーム敷地内に将来の拡張性も考慮し、余裕スペースとして平面駐車場や緑地等を設けるとともに、積雪を考慮し、堆雪場などを適切に設ける計画としており、必要十分な面積となっています。

《住民アンケートの取り扱い》

地域住民との懇談については、昨年9月1日、浜田中央公園を検討対象地にすることについて、地域住民の意見を確認することを目的に、土地の減歩に御協力いただいた浜田土地区画整理事業区域及びその周辺の町会長などに御出席いただき実施しました。

浜田ニュータウン町会、浜田青葉台町会の2町会が独自に実施したアンケート結果については、両町会から青森市に提供され、市長に報告するとともに県とも共有しています。

整備候補地の決定にあたっては、有識者会議での議論や議会、地域の皆様からの御意見、アンケート結果など、それまで県と市が重ねてきた検討を踏まえて、判断したものです。

《避難場所の確保》

浜田中央公園・県営スケート場周辺の指定避難所及び指定緊急避難場所については、災害の種別に応じて、青森中央高等学校、大野小学校、東大野公園、浜田ニュータウン西公園、浜田ニュータウン東公園、浜田福祉館及びマルハン浜田店等を指定しています。

地域住民の皆様は、災害時等には、まずは災害種別や規模等に応じて適切な指定緊急避難場所に避難いただくよう、お願いします。

なお、その後、被害状況等により自宅に戻ることができない場合等においては、市が開設する指定避難所への避難のほか、それぞれの状況に応じた避難をしていただくよう、お願いします。

本市としては、今後も、市民の皆様の安全・安心の確保に向け、公共施設のみならず、民間施設の活用も視野に入れ、連携・協力体制の構築を図っていきます。

【浜田ニュータウン⑤】

【回答】

《ドクターヘリの飛行回数》

現在の県病ドクターヘリの出動回数は、令和5年度全体で315回、内訳として、1日1回出動115日、2回出動55日、3回出動26日、4回出動3日となっており、出動した日が199日、出動していない日が166日となっています。

なお、冬期間（12～3月）の出動回数は66回、月平均が16.5回、その他の期間（4～11月）の出動回数は249回、月平均が31.1回となっています。

《統合新病院が整備されて良かったと思えない》

統合新病院が整備されることにより、まちづくりの拠点となるものと考えています。

浜田地区については、青森市の都市計画マスタープランにおいても生活拠点区域に指定されており、病院など高次な都市機能の立地の集積を図ることとしており、青森市のまちづくりの考え方にも合致しているものです。

また、統合新病院が整備されることにより、地域の医療機関の連携が加速し、地域の住民の方にとっても医療を受けやすい環境の構築や、災害時における継続的な医療の提供といった、地域の皆様にとっても医療面での安心を提供することが可能と考えています。

統合新病院は公共性・公益性が高い施設であることから、統合新病院が整備されることにより、公共交通機関の充実や除排雪の優先・徹底といった、地域住民の暮らしやすさの向上につなげていきたいと考えていますので、御理解と御協力をよろしくお願ひします。

【浜田青葉台②】

●地域住民懇談会について

現時点にて数回スケート場において、懇談会が実施されたと思いますが、なぜ告知報告が回覧板のみののでしょうか？
回覧板がこない人や見ない人もいますが、ホームページまたはお知らせを個別にお知らせ等、周知しないのはなぜですか？
3月17日の公聴会案内はポストに入っていましたか？

●計画道路拡張について

市道浜田54号線拡張ですが、計画道路の地権者になぜ集まりはないのでしょうか？
決まったから集めて話すんですか？
そのような計画があるなら病院計画同様に説明がなぜないのでしょうか？
計画段階で説明があってもいいのでないのでしょうか？

●市道荒川13号線について

こちらはパチンコ店公園の間道路ですが、普段公園にきている車で公園側の道路に車をとめていて1車線で車が往来しています。
現場確認していますか？

【浜田青葉台②】

●市長について

なぜ話し合いにこないのですか？

そこまで毎日何ヶ月も前から予定うまってるんですか？

知事が出席しないところないというのは、市の長として怠慢だと思います

事務方の人だけきて意見言っても話が進みません

先日の集まりでも、何かあれば17日に回答します

知事市長が来た時に説明します、回答しますなど何も説明になってません

17日お二人がきて、決まりましたってなるんですよね？

●サンドーム及びスケート場移転について

新病院建築にかかる経費は出ておりますが、サンドーム、スケート場にかかる移転費用が出てないと思います

市民、県民ですあれば知る権利があると思いますがなぜ少しも説明ないのでしょうか？

【浜田青葉台②】

【回答】

《住民懇談の周知方法》

浜田地区住民との懇談の周知については、事前の町会側との打合せを踏まえ、地区住民への周知が可能な方法として両町会の御協力のもと回覧板を通じて周知させていただいています。

3月17日の広聴会については、お知らせから意見提出締め切りまでのいとまがないことから、町会側にご相談の上、毎戸配付することとしたものです。

今後もお知らせが皆様に届くよう取り組んでいきます。

《渋滞対策》

(計画道路拡張)

計画道路の拡張については、11ページに記載のとおりです。

(市道荒川13号線)

公園利用者による駐車車両が並んでいる状況については確認しています。対策について、青森警察署と連携して取り組んでいきたいと考えています。

【浜田青葉台②】

【回答】

《住民懇談への市長参加》

市長としては、以前より、なるべく早いタイミングで住民の皆様と直接向き合う機会を設けたいと考えていたところですが、これまで県側との調整でなかなか実現できませんでした。知事・市長の両者揃っての参加が望ましいとの町会側の御意向も踏まえ日程調整し、今回は県との調整がついたため、本日の広聴会の開催となったものです。

《サンドームの移転費用》

サンドームの移転費用の算定については、施設に必要な機能や規模のほか、民間資金の活用や、充当可能な国等の財源の整理が必要であることから、令和7年度に実施予定の機能や規模の検討や民間活力導入可能性調査の結果を踏まえ整理していきます。

《県営スケート場の移転費用》

県営スケート場については、令和8年に開催される「青の煌めきあおもり国スポ」の競技会場（ハンドボール・スポーツクライミング）となっているため、現時点では、大会終了後に解体工事を発注・契約し、令和10年3月までに解体工事を終える予定としています。具体的なスケジュール及び事業費については、来年度に実施予定の解体設計において検討していくこととしています。

【浜田ニュータウン⑥】

【共同経営・統合新病院に係る基本計画の浜田地区整備候補地について反対する立場で意見いたします。】

≪ 事実関係 ≫

1. 整備候補地の決定プロセスについて

◇令和4年2月10日の前三村知事と、前小野寺市長による共同経営の統合新病院新築整備の共同発表を経て調整会議、有識者会議において整備候補地三案について2年もの間協議を重ねてきたものと認識しております。

◇それまでの基本的事項については『既存建物が無い場所』と明記されていたが、令和6年3月26日に見直しされ『できる限り』の文言が追記された。

◇その後、令和6年7月21日に青森県病院局から市に対し、整備場所比較検討資料が提出され有識者会議、検討会議に諮られた。

【浜田ニュータウン⑥】

《意見》

・この短期間でこれまでの議論経過を無視するかの如く、浜田地区（案）が出てきたことが遺憾である。

有識者会議，検討会議メンバーも事前に知らされることなくあたかも事務局側の強引な手法によって浜田地区（案）に誘導するような資料が非常に腹立たしい。特に，ドクターヘリの騒音に対し，浜田地区（案）にはメリットとして『一部住宅地はあるが・・・騒音公害については問題が少ない』と記載されている。これは，近隣住民への配慮に欠けているとともに，我々の生活環境等については何も考えられていないと言わざるを得ない。

民有地取得は地権者を含めた用地交渉に時間が掛かるとの住民説明会でのお話があったが，出来ない理由を探してお答えしているとしか感じない。スケート場，サンドームを移転新築してあの狭い敷地に病院機能を詰め込むのは計画に無理があると考えます。

代替案としては，仮に既存建物を解体して・・・ということであれば，県立図書館，総合社会教育センターを解体し西側の民有地を取得し病院建設をすれば良い。図書館も築40年弱であることも鑑みて実現性があるものとする。

※基本計画のスケート場，サンドーム跡地に，同機能を建替えれば近隣住民の騒音問題は解消。

（利用率，人口減少も考慮し図書館や教育センター機能を維持するのか，検討する余地もある）

※上記場所付近には，住宅もなく（刑務所は隣接するが）ドクターヘリ，救急車の騒音問題もないと思量。

※青森刑務所が，もし移転閉鎖となった場合は用地取得し将来の建替え場所としても活用できるものとする。

上記案について，ご検討をいただきたい。

【浜田ニュータウン⑥】

1. 建替え場所について

◇第三回有識者会議において、構成メンバーから建替え場所のお話しも出ていた。

⇒基本方針（案）の場所では、建替え用地は無く有識者会議の意見が何一つ反映されていない。

50年先の病院機能をどう維持していくかの不透明さはあるものの、有識者会議メンバーの発言について検討、意見反映をされることなく作成された基本計画（案）は受け入れられない。

※上記①案であれば、西側に更なる用地取得が見込め病院機能を維持しながら、用地取得を進めれば良く次期更新まで相当の時間の猶予があることから問題は無いと考えます。

1. 騒音対策について

◇もし、浜田地区に新病院建設となれば解体から建設工事、病院開院後は救急車、ドクターヘリ等の騒音に長い間悩まされることとなります。特に懸念しているのは、ドクターヘリの運用です。基本計画（案）のとおりであれば現ヘリポートとの住宅距離と比較し、近接することは明らかです。病院周辺の周囲も建物に囲まれており、不時着するための場所もありません。あってはなりません。災害（津波・洪水）のリスクよりも、ヘリの事故の方が遥かにリスクが高いと考えます。

⇒このような点からも、上記①案、ならびに当初予定地にあった青い森セントラルパークが適地と考えます。

【浜田ニュータウン⑥】

1. その他

◇本基本計画（案）で今後進めるとなった場合、日照権、騒音対策について法律に基づく対応をするのは行政として当然のこと。

近隣住民は、激変する生活環境に耐えなければならず安心して生活することもままならない。

そういった状況に行政としてどう対応していくのか、これで決まったので、我慢してくださいでは到底納得できません。

近隣住民がどんな懸念をし、何を求めているのかを誠意をもって傾聴し不安を解消するために対応しなければ禍根を残すこととなります。

解体・建設中の騒音、ドクターヘリの離発着により、自宅の窓も開けられない、洗濯物を外にも干すことが出来ない等々様々なことが何年も続くことになり不安でなりません。住民説明会でその趣旨の発言をしても、通り一辺倒な回答しか得られず寄り添った対応がされていないと感じています。そもそも、青い森セントラルパーク用地での、病院配置を検討したうえで比較をすべきとも考えます。

◇県民の命を守る病院はもちろん必要だと考えていますが、病院建設にともなう様々な問題について我々近隣住民の生活は犠牲になっても構わないのでしょうか？他地区の方と同じ税金を納付しながらも、穏やかに生活する権利も奪われるのでしょうか？

関係者皆さまのご親戚・友人・知人が同じ立場でも、同じ事が言えるのでしょうか。

青森市検討会議では、青い森セントラルパークが適地としたメンバーが多かったにもかかわらず、浜田地区（案）が進められようとしています。

住民の反対意見も多い中で、このまま病院建設をすすめることが、宮下県政、西市政の最大の汚点とはならないでしょうか。

住民への影響が少ない代替案の検討も含めて、もう少し時間を掛けて議論を深めることが得策と考えております。

公聴会を開催した既成事実で、この計画を進めていくことには絶対に反対です。

【浜田ニュータウン⑥】

【回答】

《整備候補地決定の経緯》

県立図書館及び県総合社会教育センターについては、老朽化は進んでおらず、長寿命化措置の対象でもなく、まだ使用可能な施設となっています。

整備候補地決定の経緯は18～19ページに記載のとおりです。

※減価償却資産の耐用年数等に関する省令

鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造のもの（事務所用又は美術館用のもの及び左記以外のもの）：
耐用年数50年

《将来の建替え用地》

統合新病院については、いずれまたどこかの時点で建替えしなければならないということは認識しており、適切な時期に周辺環境などを踏まえて検討することになるものと考えています。

50年先の人口や医療環境、医療政策など、地域を取り巻く環境によって設置場所を検討することになります。

《日照権、騒音対策（工事・救急車・ドクターヘリ）、ドクターヘリの事故対策について》

日照権については、9ページに記載のとおりです。

工事中の騒音対策については、2ページに記載のとおりです。

救急車の騒音対策については、2ページに記載のとおりです。

ドクターヘリの騒音対策については、3ページに記載のとおりです。

ドクターヘリの事故対策については、10ページに記載のとおりです。

【浜田ニュータウン⑦】

①昨年9月に浜田ニュータウン町会、浜田青葉台町会が提出したアンケートの2日後に、知事と市長のトップ会談で新病院建設場所が決定。

今回のアンケートは、3月17日の広聴会のためのものであり、 \times は3月9日。8日間ほどの日数を必要としているが、9月末に町会が提出したアンケートは、本当に知事・市長へ届いたのか？

住民による県と市への多大な不信感は、この件に端を発している。

★町会からのアンケートは、本当に首長へ届いていたのか？

②浜田中央公園30,000㎡が新病院の敷地面積に貼っている。クローズの説明会では住民から何度も「公園に病院を建設した方が良いのではないか」という意見が出たが、「住民が公園を残してほしい」という要望があったので、公園を残して建物を建てないとの説明があった。

しかし、3月1日の説明会では「浜田中央公園には貯水機能があるため、大きな建物は建設できない」とのことだった。

★1月、2月の説明会で、なぜ最初に、浜田中央公園には貯水機能があるため、大きな建物は建設できない旨、説明しなかったのか。

★使えない土地をなぜ敷地面積に入れているのか。

数字のマジックで、敷地面積を大きく見せようとしているのではないかと疑ってしまう。

【浜田ニュータウン⑦】

③・地盤沈下問題

工事前後の周辺住民の地盤はどのように測定するのか？仮に地盤沈下や工事による振動で近隣家屋に亀裂が発生した場合の補償（金銭的補償も含めて）はどうか？

・道路拡張による立ち退き問題

住民の合意がえられない場合は現在の道路幅のままで新病院を開院するのか？

・平面駐車場の除雪の騒音と振動

村上病院の場合、住民の申し入れによって深夜帯の除排雪はおこなっていない。（22時～翌5時まで）

・職員用立体駐車場建設による日照権問題

敷地面積が狭いため、病院は環状線側に配置されているが、職員用立体駐車場は住宅地側に配置されている。

・ドクターヘリによる騒音、吹き下ろし風、粉塵について、一体どれほどの受忍限度となるのか。

・朝(通勤時間帯)の近隣道路の交通渋滞

・調剤薬局不足

【浜田ニュータウン⑦】

3月1日の説明会終了後、年配の男性から声をかけられ、「お前はバカか」といきなり言われました。その後も「お前の意見は反対ばかりだ。お前が言っている事を聞いているとはらわたが煮えくり返る」とも言われました。「意見があるなら公の場で言ってください」と伝えましたが「言い合いになるから」とその後も罵声を浴びせ続けられました。（今となっては近くにいた職員に助けを求めればよかったと思っています）恐怖を感じた時間でした。

人生には「まさか」があると言われますが、昨年9月から今年の3月1日までは、私の人生にとって正しく「まさか」が連続しておこりました。

快適な住環境から一転して、目の前に立体駐車場が建設されて、日照権の問題やさらにドクターヘリによる騒音、吹き下ろし風、粉塵等を心配して（多分この新病院の建設案は3月17日に開催される広聴会の結果とは関係なく通ることが決まっているでしょうから）悩む日が続くとは思いませんでした。

「どこにどんな箱を作るか？」ということは、とても大切ですが、新病院に勤務する医師とスタッフの人的パワーがなければ医療は成り立ちません。

統合することによって見込まれる財政的効果額212億円の予算から、医師招致へ計上してはいかがでしょうか？住宅を完備して雪かきをしなくても良い、あるいは冬期間は運転をしなくてもいいように送迎する。住宅を建設する場合は、低金利で貸付をするなどの優遇措置をとるなど。

医師の確保（もちろんスタッフもですが）なしでは、安定的な病院経営は難しいと思います。

今回の騒動は自分の今後の人生プランについて考えるきっかけとなりました。残念ながら老後、ここに住み続けることは無理なので、青森を脱出する計画を楽しみながら進めて行きたいと思います。

少子高齢化による働き手不足、診療報酬収入の低下、物価高騰など、病院経営には、逆風が続きますが、「あの場所に新病院を建設して正解だった」と言われる日が来ることを願っています。数年後にこの景色が見られなくなるのは残念ですが、それまでは青森の大自然を楽しみたいと思います。

【浜田ニュータウン⑦】

【回答】

《住民アンケート》

地域住民との懇談については、昨年9月1日、浜田中央公園を検討対象地にすることについて、地域住民の意見を確認することを目的に、土地の減歩に御協力いただいた浜田土地区画整理事業区域及びその周辺の町会長などに御出席いただき実施しました。

浜田ニュータウン町会、浜田青葉台町会の2町会が独自に実施したアンケート結果については、両町会から青森市に提供され、市長に報告するとともに県とも共有しています。

整備候補地の決定にあたっては、有識者会議での議論や議会、地域の皆様からの御意見、アンケート結果など、それまで県と市が重ねてきた検討を踏まえて、判断したものです。

《浜田中央公園の調整池機能》

病院の建設場所については、浜田中央公園を残してほしいとの意見が多かったことから、スケート場周辺側の敷地としたものです。

浜田中央公園は、浜田地区区画整理事業において、都市計画決定をして整備した都市公園となっています。

現在浜田中央公園が整備されている箇所に病棟を整備する場合は、浜田地区もしくは近隣に同等機能・規模を有する代替の都市公園を設け、都市計画上の所定の手続きを行い、都市公園の一部もしくは全部を廃止することで、病棟等の整備は可能となります。

【浜田ニュータウン⑦】

【回答】

《浜田中央公園を敷地面積に入れている理由》

敷地利用計画では、浜田中央公園は、可能な限り都市公園として残すことを基本とし、病院関連施設としては、病院関係者や救急車両等の通路のみ整備する予定ですが、今後、地域住民の御意見等を踏まえた整備も考えられるところです。

また、浜田中央公園の活用ということでは、平時においては、患者やその家族等の憩いの場やリハビリの場としての活用や、災害時の活用が想定される場所であり、公園機能はほぼ残す一方で、統合新病院と一体的な公園として活用が期待できる場所です。

《地盤沈下対策》

地盤沈下対策については8ページに記載のとおりです。

周辺地盤に影響が無いように施工します。

万が一、影響があり法的に責任が生じる場合には当然、補償することになります。

《道路拡張による立ち退き問題》

道路拡幅の見通しについては、11ページに記載のとおりです。

住民との合意が得られるよう、丁寧に交渉を行っていきます。

【浜田ニュータウン⑦】

【回答】

《騒音・振動対策（ドクターヘリ、構内除雪）》

（ドクターヘリ）

ドクターヘリの騒音対策については、3ページに記載のとおりです。

（ドクターヘリ吹き下ろし風）

ドクターヘリの吹き下ろし風の影響については、9ページに記載のとおりです。

（構内除雪）

構内の除雪については、周辺住民と協議し、深夜の時間帯に原則行わないなど時間帯等を決定したいと考えています。

《渋滞対策》

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

《調剤薬局の整備スペース》

調剤薬局については、12ページに記載のとおりです。

【浜田青葉台③】

I 知事・市長の基本姿勢について

統合新病院については、住民の意見を丁寧に聞き、住民に騒音・渋滞・地盤沈下といった犠牲を強いることなく、そして、地域住民が未来に希望を持てるよう、統合新病院と地域住民が共存共栄となるよう、進めていくことが大事だと思うが、知事、市長はどう考えているのか、伺いたい。

II 「浜田地区まちづくり検討委員会」での「浜田地区まちづくり計画」づくりについて

1 ①知事と市長だけでの透明性のない中での候補地の決定

②1月13日と1月28日の懇談会、3月1日の基本計画案の説明会においては、「まちづくり」の部分について、質問者の質問や意見に対して、県・市は聞き流すだけが多いなど、地域住民を軽視しているとしか思えない対応。

③基本計画の「まちづくり」の部分は、一例を挙げれば、騒音について「騒音対策を図る」のたったの7文字だけだったり、いつのまにかへりポートが3箇所になっていたり、といった具体性の無さや様々なことを隠しているのではという疑惑など県・市のこれらのことが、地域住民、市民、県民には、自分たちを軽視し、侮っていると思われ、県・市への不信感を高め、信頼を失わせています。

私は、県・市が「まちづくり」の部分の「具体化に当たって」、「地域住民、外部の専門家、客観的な立場の者」の意見も聞き、「透明性をもって進める」という姿勢を、示すことが、県・市の信頼回復の第1歩になると思います。

2 そこで、透明性と具体性のある「浜田地区まちづくり」について、次の提案をします。

①外部の都市計画・環境問題・防災などの専門家、病院代表、浜田地区町内会の住民などで構成される「浜田地区まちづくり検討委員会」を立ち上げる。

②「浜田地区まちづくり検討委員会」の意見を聞いて、地に足のついた「浜田地区まちづくり計画」をつくる。

③共同経営・統合新病院に係る基本計画(案)には、「浜田地区まちづくり部分に関する具体的な内容は、浜田地区まちづくり検討委員会の意見を踏まえて、浜田地区まちづくり計画をつくる」旨を明記する。

【浜田青葉台③】

III パブリックコメントへの県・市の対応について

県・市には、パブリックコメントにおいても、信頼回復の第1歩にすべく、誠実な対応の姿勢を見せていただきたいので、次の要望をします。

- 1 パブリックコメントに対する「県・市の意見(考え方、反映状況)」についての(前例主義をとることなく)説明会を開催すること。
- 2 パブリックコメントに対する「県・市の意見(考え方、反映状)」について、地域住民の多くが、誠実、丁寧、かつ、納得できる、と思えるまでは、基本計画案の案は取らないこと。

【浜田青葉台③】

【回答】

《知事・市長の基本姿勢・浜田地区まちづくり検討委員会》

統合新病院の整備に当たっては、地域住民の理解を得ながら進めていくことは重要であり、地域との話し合いの機会は、繰り返し、建設までの間、長期にわたって実施していく必要があるものと考えています。

《「浜田地区まちづくり」の提案について》

いただいた提案については、御意見として受け止めさせていただきます。

《パブリックコメントの対応》

パブリックコメントは、県や市の基本的な政策に関わる立案等を行う過程において、当該立案等の趣旨、内容その他必要な事項等を公表し、それらに対して提出された意見等を考慮して、意思決定を行うとともに意見に対する県と市の考え方を公表するものとなります。

また、パブリックコメントにおいて提出された意見に対する考え方及び当該意見を考慮した結果としての基本計画（案）の修正等について公表する方法は、広く周知する必要があることから、ホームページに掲載するなどにより周知していきます。なお、地域住民の皆様には引き続き丁寧な対応に努めてまいりたいと考えています。

【浜田青葉台④】

意見1 統合病院の建設場所は、浜田中央公園に建設し、公園は市道浜田54号線側に移設すべきである。

<理由>

- (1)基本的に構想の建物は住宅から離して建てるべきであること。
- (2)ドクターヘリ等の騒音を考えても住宅地から可能な限り離すべきであること。
- (3)浜田中央公園側に統合病院を建設することにより、県営スケート場の解体工事と統合病院の建設工事を同時並行で工事することができ、工事期間の短縮につながる。
- (4)また、工事短縮により事業費の軽減につながると考えられること。
- (5)今後、セントラルパークに青い森鉄道の駅ができた場合、直線道路で統合病院に行くことができ利用者の利便性向上につながる。
- (6)統合病院への出入り口を複数設けるべき（意見2）と考えるが、市道浜田54号線側からの出入り口以外の出入り口を容易に造ることができること。

<課題>

- (1)公園に統合病院を建設することで、洪水発生時の遊水機能を持つ公園を失うことが懸念されるが、市道浜田54号線側に公園を移設することで遊水機能は担保されると考える。
- (2)また、統合病院建設期間中は、公園内の建設地以外を遊水地とすると共に、スケート場解体でできるスペースを遊水地とすることで遊水機能は担保できると考える。
- (3)ただし、浜田中央公園を市道浜田54号線側に移設することで新たな経費が必要となることは課題と考える。

<結論>

統合病院を浜田中央公園に建設することは、幾つかの課題はありつつも、はるかにメリットが大きいと考える。

【浜田青葉台④】

意見2 一般来院者の病院出入り口は、市道浜田54号線からのみとなっているが、出入り口は複数個所に設けるべきである。

<理由>

- (1)一般来院者の駐車場は、ピーク時間帯を考慮して700台としているが、その多くは通期時間帯に重なることが考えられ病院出入り口で大きな渋滞が考えられる。
- (2)また、市道浜田54号線の交通量をシミュレーションするための基本データは、国土交通省が令和3年に行った調査を基にシミュレーションしているが、市道浜田54号線を拡幅した場合、調査当時より格段に交通量が増えると考えられる。

意見3 統合新病院建設の具体化にあたっては、地域住民の代表や道路関係の専門家等を入れた「統合新病院推進検討会議」(仮称)などの設置を行い、地域住民の意見・要望が組み入れやすい環境を整備すること。

【浜田青葉台④】

【回答】

《現在の配置計画について》

現在の配置計画については、最大限、住宅から離れた位置に建物を配置し、騒音等の影響を最小限とするよう配慮しています。浜田中央公園側に病院を整備することによる工期短縮と事業費の軽減については、新たな公園が整備されるまで、長期間にわたり都市公園の機能が失われることになるほか、浜田中央公園内にある調整池機能を維持しつつ新たに同等の都市公園を整備する必要があるなど、追加的経費がかかることなどが支障となってくると考えます。

《セントラルパークからのアクセス》

セントラルパークからのアクセスについては、利用者の利便性が向上するよう検討していきます。

《ドクターヘリの騒音対策について》

ドクターヘリの騒音対策については、3ページに記載のとおりです。

《出入口を複数個所設置》

今後は、複数の出入口を設けることも、今年度実施した将来の交通量推計や詳細なシミュレーション結果を踏まえ、検討していきます。

《地域住民の意見・要望を反映させるための会議体の設置》

統合新病院の整備に当たっては、地域住民の理解を得ながら進めていくことは重要であり、地域との話し合いの機会は、繰り返し、建設までの間、長期にわたって実施していく必要があるものと考えています。

【浜田青葉台⑤】

交通のアクセス、利便性の良さ、公園が近く閑静なところが気に入り、住宅を購入しました。

設置計画場所に住まいが面しています。

自宅前が立体駐車場建設予定となっています。

現施設の解体や建設の段階から生活環境が大きく変わるとお思いますので、心配なことや不安なことがたくさんあります。

- ・ 工事の騒音、粉塵、振動の問題
- ・ 立体駐車場四階建による日照の問題
- ・ 駐車場24時間利用可能の場合の騒音問題
- ・ ヘリによる騒音や振動の問題

- ・ 人も車も大幅に増えますので、信号機の新規設置の有無、渋滞緩和のための対策
（職員駐車場はできるだけ住宅街ではない所に設置していただけるのか）
- ・ 歩行者の安全確保のためのガードレールの設置など

以上の点について、計画、対策、補償についてお伺いしたいです。

【浜田青葉台⑤】

【回答】

《騒音・振動対策等》

(工事)

工事の騒音、振動等については、2ページに記載のとおりです。

(駐車場24時間利用)

駐車場を24時間利用可能とするかどうか現時点では決まっていますが、利用する場合には騒音とならない工夫を考えます。
なお、現在の病院の状況として夜間利用はほとんどありません。

(ドクターヘリ)

ドクターヘリの騒音については、3ページに記載のとおりです。

(ドクターヘリの吹き下ろし風)

ドクターヘリの吹き下ろしの影響については、9ページに記載のとおりです。

《立体駐車場四階建による日照》

日影については、9ページに記載のとおりです。

【浜田青葉台⑤】

【回答】

《交通渋滞対策（信号機の新規設置）》

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

なお、信号機の設置についても渋滞対策の一環として検討していきます。

《歩行者の安全確保》

市道については、除排雪等の維持管理を踏まえ、一般的にガードレールの設置は行わず、歩車道境界ブロックによって歩行者の安全を確保しています。

また、敷地内については、今後設計の中で、歩行者等の安全対策としてガードレールの設置などを検討し、整備していきます。

【浜田青葉台⑥】

提言・意見

基本的に賛成ではありますが、もう少し具体的な計画策定の提示がないと全面賛成できません。

以下に具体化して提言いただきたい項目を列記し、項目毎に意見を述べさせていただきます。

- 1 命にかかわる交通渋滞が発生しない仕組みづくり
 - 1 道路網の複線化
 - 2 冬季道路は除排雪ではなくて融雪を
 - 3 集中させない診療スケジュール管理の推奨
 - 4 立体駐車場入庫待ち時間短縮
 - 5 そもそも来院者を少なくする
 - 6 地域医療連携推進
- 2 拡張道路と関連施設、公園の再整備
 - 1 計画道路拡張に伴う収用と代替え地の準備
 - 2 現状近隣医療設備の移転用地の確保
 - 3 公園内設備の充実
- 3 IoT徹底活用、最新AI医療導入
 - 1 来院者管理
 - 2 医師、看護師、看護師助手の作業軽減
 - 3 患者側の説明の受けやすさと理解度向上
 - 4 患者の基礎情報記録の自動化
 - 5 現在のIoT技術で携帯アプリで実現できる事を列挙

【浜田青葉台⑥】

1 命にかかわる交通渋滞が発生しない仕組みづくり

1 道路網の複線化

- ・既存の道路網に加え、新たな道路網を整備することで、交通の集中を分散させ、渋滞を緩和する。
- ・既存2車線道路を一方通行2車線にする。また道路幅拡張により往復2車線+通院専用1車線を確保する。
- ・病院へのアクセス道路を複数確保、専用化することで緊急時の搬送をスムーズにする。
- ・職員通勤時間帯に混雑させないために入庫時間をコントロールする。

2 冬季道路は除排雪ではなくて融雪を

- ・冬季の積雪や路面凍結は、交通渋滞の原因となるだけでなく、事故の危険性も高まってしまう。
ブルドーザによる除排雪は騒音の点からも住民の反対を招いているのでしっかりした融雪システムが望まれる。
- ・ロードヒーティングや散水設備などの対策を講じることで、安全な通行を確保する。
特にロードヒーティングを近隣エリアに広げ、近隣住民に配慮する。
- ・地熱利用(深層地下水との温度差を利用したヒートポンプ式発電など)を採用して長期的な融雪力をもたせる。

3 集中させない診療スケジュール管理の推奨

- ・特定の時間帯に診療予約が集中することで病院周辺の交通渋滞を引き起こす要因になっている。
- ・予約時間の分散や、オンライン診療の導入などにより、来院者の時間的集中を避ける。
- ・再来患者については公共交通機関の発着時刻と直通バスの時刻、来院時刻、診療窓口到着時刻を一元管理し受付の混雑緩和待ち時間の短縮を図る。

【浜田青葉台⑥】

1 命にかかわる交通渋滞が発生しない仕組みづくり

4 立体駐車場入庫待ち時間短縮

- ・病院の駐車場が満車の場合、入庫待ちの車両が道路にあふれ、渋滞要因となっている。
- ・立体駐車場の導入や、近隣の駐車場との連携により、駐車場の収容台数を増やすことが必要。
- ・立体駐車場は自走式ではなく、機械式にする事で職員用、来院者用、送迎車用の増減にフレキシブルに対応できる様になり、二つに分ける必要性がなくなる。
- ・入出庫時刻をAIアプリで管理することで、入庫にかかる時間を短縮し渋滞緩和を図る。出庫予定時刻をあらかじめアプリに入力することで、出庫時刻が近づいたら車庫出口付近に移動させ出庫時間の短縮を図る。

5 そもそも来院者を少なくする

- ・健康増進や予防医療を推進することで、病院に来院する人を減らすことができる。
- ・オンライン診療や服薬指導など、自宅で受けられる医療サービスを充実させる。
医師、看護師、看護師助手の業務軽減にもつながる「来院しないのでできる診療システム」を推進する。
- ・これらシステムはすでに実用している医院が有り、視察や情報提供を積極的に行い既に効果が出ている仕組みは積極的に取り入れる。

6 地域医療連携推進

地域内の医療機関が連携し、患者の情報を共有することで、適切な医療機関への案内や、重複した検査の回避などが可能になる。

これにより、患者の移動負担を減らし、病院周辺の交通量も減らすことができる。

例えば近隣の医院での問診内容をAIにより適正文書化したものを電子カルテとして総合病院医師と共有する事で来院時の問診時間が短縮する。

【浜田青葉台⑥】

2 道路拡張と関連施設、公園の再整備

1 計画道路拡張に伴う収用と代替え地の準備

計画道路拡張での代替地は通常移動する側で用地見つける事が一般的だが、今回は公共用地の再開発なので土地の一部を拡張にかかる住居へ代替地を等価交換などの手段を用いて短期間での拡張用地取得が可能になる。

2 現状近隣医療設備の移転用地の確保

移転計画に伴い、既存の公的医療施設の移転準備をする必要がある。

例) 県立病院職員寮、青森市医師会館、市立高等看護学院 など

3 公園内設備の充実

道路拡張により、公園の面積が減少する場合がある。

公園の機能を維持するため、遊具の設置や緑地の確保など、公園内設備の充実を図る必要がある。

浜田西公園：健康増進の為に遊具(降雪対策付)設置

浜田中央公園：ミニアスレチック遊具など。特に冬季間でも利用できる施設の設置

【浜田青葉台⑥】

3 IoT徹底活用、最新AI医療導入

1 来院者管理

IoTセンサーを活用し、病院内の混雑状況をリアルタイムに把握することで、来院者を適切な場所に誘導する。

また、オンライン予約システムと連携することで、来院者の待ち時間を短縮する。

2 医師、看護師、看護師助手の作業軽減

AIを活用した医療画像診断や、電子カルテの導入により、医師や看護師の作業負担を軽減することができる。(既往)

また、AIチャットボットを導入することで、患者からの問い合わせに対応することができる。

3 患者側の説明の受けやすさと理解度向上

看護師の作業のうち、繰り返し患者へ説明をしている内容はその内容をAIに学習させ、チャットBOTで患者へ説明。

入院患者のタイムスケジュールを可視化共有して業務のブッキングを予防するなどにより手戻り作業の削減を図る。

4 患者の基礎情報記録の自動化

入院患者ごとに看護師助手への作業指示内容、実施予定、実施開始終了、状態などを電子日報へ自動記載、実施遅れを防止する。

患者の体温・血圧などをスマートウォッチなどでリアルタイムに測定記録。

異常値の発生する恐れがないかをAIが判断、急変前にサインを出す。

【浜田青葉台⑥】

3 IoT徹底活用、最新AI医療導入

5 現在のIoT技術で携帯アプリで実現できる事を列举

医療情報閲覧

多くの病院や自治体で、オンライン診療システムやPHR（Personal Health Record）サービスが提供されており、自身の医療記録を共有できる。

来院予約

多くの医療機関で、オンライン予約システムが導入されている。

AI問診

AIチャットボットによる問診システムは、一部の医療機関で導入が進んでいる。

交通案内

Google Mapsなどの地図アプリで、公共交通機関の時刻やルート検索が可能。

駐車場連携

一部の駐車場管理システムでは、オンライン予約や空き状況確認が可能となっている。

院内ナビ

一部の病院では、院内地図アプリやナビゲーションシステムが導入されている。

電子カルテ連携

多くの医療機関で電子カルテが導入されており、API連携による情報共有も進んでいる。

処方箋連携

一部の薬局では、オンラインでの処方箋受付や薬局検索が可能になっている。

【浜田青葉台⑥】

3 IoT徹底活用、最新AI医療導入

5 現在のIoT技術で携帯アプリで実現できる事を列挙

これらの要望機能をすべて盛り込んだアプリが完全に開発済みかどうかは、現時点（2025年2月28日）では断言できない。しかし、個々の機能に着目すると、既に実用化されている技術やサービスは多く存在する。

以上のように、個々の機能は既に実用化されているものが多いため、これらの機能を統合したアプリを開発することは技術的には可能だろう。

無論留意点もある。

- ・医療機関との連携: 電子カルテや予約システムとの連携は、医療機関の協力が不可欠。
- ・法規制として 医療情報の取り扱いには、個人情報保護法や医療情報に関する法令を遵守する必要がある。
- ・高齢者やITリテラシーの低い人でも使いやすいインターフェース設計が重要。

アプリ開発には相当の費用がかかるため、資金調達を検討する必要があるが、まだ一貫したシステムがない、としたらスタートアップアプリとして、医院向けに技術提供することで、県内医療関係の業務改善にもなる。

現在の市民・県立両病院でシミュレーションを実施し検証、問題点などの洗い出し、統合アプリ開発に一刻も早く乗り出すべきと考えます。

【回答】

貴重な御意見を参考にしつつ、短期、中期、長期的な視点に立って、検討してまいります。特に「集中させない診療スケジュール管理の推奨」「立体駐車場の来院者を少なくする」「そもそも来院者を少なくする」といった提案については、重要な観点と考えております。

【浜田ニュータウン⑧】

【1. 建設場所の選定理由について】

1. 浜田中央公園周辺を最適な場所とした根拠を具体的にお示してください。「高速道路への近接性」を利点とされていますが、実際に高速道路を利用した救急搬送の割合はどの程度でしょうか。利便性が高いと判断したデータの提示をお願いいたします。
2. なぜ他の県有地・市有地ではなく、住宅地に隣接したこの場所が選定されたのか、検討過程を示した資料の公開をお願いいたします。住宅地に病院を建設するメリットは何でしょうか。近隣住民にとってのメリットとデメリットも明確にお示してください。
3. 過去に施設内で陥没事故が発生したサンドームの場所に病院を建設することに関し、地盤の安全性に関する調査結果または陥没事故を検討した会議の議事録の公開をお願いいたします。決定後の調査で地盤の問題が明らかになった場合、どのように対応するか具体的にお答えください。
4. コンパクトシティの観点から浜田地区が適しているとの判断であれば、それを裏付けるデータや都市計画の詳細を公開してください。

【2. 生活環境への影響について】

5. 病院建設時および運営開始後の騒音（救急車・ヘリポート・機械音）への具体的な対応策をお示してください。近隣地域と隣接住宅をそれぞれどのように定義しているのか、区分してご説明をお願いいたします。
6. 隣接住宅の騒音や振動など、生活環境の変化についてどのようにお考えですか。住民に対する具体的な対応策や補償を検討していますか。

【浜田ニュータウン⑧】

【3. 住民合意形成について】

7. 住民説明会は建設の是非を問う場ではなく、単なる説明にとどまっているのではありませんか。
「住民の意見を反映する」とは具体的にどのようなことですか。何をもち「住民の意見を取り入れた」と判断するのか、具体的にご説明ください。
8. 地域住民の意見が具体的に反映される仕組みを設ける予定はありますか。明確なご回答をお願いいたします。

【4. 交通渋滞とアクセスについて】

9. 病院開業後の交通渋滞対策について具体的にお示しください。
駐車場（700台＋950台）に出入りする車両増加による交通渋滞への対策は十分に検討されていますか。
当地域の渋滞は現状でも曜日、天候によっては激しい渋滞が起こります。道路行政として具体的な計画をお示しください。
10. 住民の生活道路の混雑により、通勤・通学に影響が出る可能性についてどうお考えですか。
病院へのアクセス道と住宅街の生活道路が重なることで朝夕の渋滞が悪化する懸念がありますが、近隣住民の生活の利便性を守るため、どのような対策を検討していますか。
当地域の地盤の問題を踏まえてのことでしょうか。

【浜田ニュータウン⑧】

【5. 冬季の運用と災害対策について】

11. 青森市は豪雪地帯ですが、屋上ヘリポートの運用は現実的でしょうか。

除雪や冬季の運用に関する具体的な計画をお示してください。

現状、県庁のヘリポートも十分に運営できていないと聞きますが、その状況を踏まえての計画でしょうか。

12. 病院周辺の歩道や駐車場の除雪計画について、近隣住民および病院利用者双方に配慮した具体的な計画をお示してください。

13. 水害対策として盛土等を実施するとありますが、周辺の住宅や道路への影響は検討されていますか。

病院の敷地が盛土で高くなることで、周辺住宅の水害リスクが高まる懸念がありますが、この点をどうお考えでしょうか。

14. 地下施設を設けない方針とのことですが、そのデメリットはないのでしょうか。

他地域の地下施設を持たない総合病院の具体的な例があればお示してください。

当地域の地盤の問題を踏まえてのことでしょうか。

【浜田ニュータウン⑧】

【回答】

≪整備場所選定理由≫

(高速道路に近いことによる利便性)

県立中央病院では、令和5年度実績で北部上北の消防本部から69件、中部上北消防本部から21件、弘前消防本部から15件、五所川原消防本部から14件など、県内各地から救急車両の受入れ実績があるほか、入院患者の3割は青森市以外からの患者となります。

その他、総合周産期母子医療センターとして、県内各地から母体・胎児救急搬送などを県立中央病院のドクターカーなども活用しながら行っているほか、県内各地に診療応援にも出向いています。

また、災害拠点病院として、人員や物資の受入れ時の利用なども考えられます。

こうしたことから、高速のインターチェンジ付近に設置することにより、救急搬送、入院患者やその家族、応援医師等の利便性の向上につながるものです。

(住宅地に建設するメリット・デメリット)

様々な検討・議論を積み重ね、最終的には、県と市の協議により、大規模災害時の基幹災害拠点病院としての機能を最優先させ、県営スケート場周辺を整備候補地としたものです。

統合新病院の整備を契機として、地域の医療機関との連携を加速し、地域の住民の方にとっても医療を受けやすい環境の構築や、災害時における継続的な医療の提供といった、地域の皆様にとっても医療面での安心を提供することが可能と考えています。

また、統合新病院は公共性・公益性が高い施設であることから、統合新病院が整備されることにより、公共交通機関の充実や除排雪の優先・徹底といった、地域住民の暮らしやすさの向上につなげていきたいと考えていますので、御理解と御協力をよろしく申し上げます。

【浜田ニュータウン⑧】

【回答】

≪ 整備場所選定理由 ≫

(地盤の問題が出てきた場合の対応)

サンドームのグラウンド陥没の原因は、青森市の調査によると、グラウンドの地盤が軟弱であるため、表層の土や砕石が沈下していることなどが考えられるところです。

統合新病院の整備に向け、現在、地質調査を実施しているところではありますが、病院の建設が可能な地盤であるとの結果が得られる見込みとなっています。

地盤沈下の対応については、37ページに記載のとおりです。

(コンパクトシティの観点から適している理由)

青森市では、都市計画に関する基本的な方針である「青森市都市計画マスタープラン」の一部として定めている「青森市立地適正化計画」において、本市の発展を支える都市拠点として、これまで様々な取組を行ってきた「青森駅周辺地区」・「新青森駅周辺地区」・「操車場跡地周辺地区」・「浪岡駅周辺地区」の4地区を「都市機能誘導区域」としており、また、医療・商業施設等の既存ストックが集積している造道周辺地区・浜田周辺地区の2地区について、「生活拠点区域」としています。

このうち、「生活拠点区域」である「浜田周辺地区」における土地利用の基本的な方針としては、商業施設の集積に加え、医療施設等の生活利便性を高める都市機能が集積した生活拠点として、これら施設の立地を図るとともに、公共交通のサービス水準の向上等を図ることとして位置付けています。

このことに加え、令和4年12月に開催した共同経営・統合新病院の検討対象地に係る外部有識者からの意見聴取において、病院等の高次な都市機能を検討するに当たっては、「日本の多くの地方都市は人口減少を前提として都市計画を考えており、青森市都市計画マスタープランでは、既に青森市が持っている様々な機能や拠点を区域として定め、何か新しい施設や機能を作る際は、これらの区域に誘導しようという考えの下、都市機能誘導区域や生活拠点区域を定めている。」「新病院整備に当たっては、青森市都市計画マスタープランの考えに則るとともに、整合を図っていくことが望ましい。」との御意見をいただきました。

生活拠点区域である浜田周辺地区に統合新病院を整備することは、外部有識者からの意見にもあるように、青森市のまちづくりの方向性に適していることを評価されているところです。

【浜田ニュータウン⑧】

【回答】

≪騒音・振動対策≫

(救急車サイレン対策)

救急車のサイレンについては、2ページに記載のとおりです。

(ドクターヘリ騒音対策)

ドクターヘリの騒音については、3ページに記載のとおりです。

(機械音対策)

積雪寒冷地となるため、騒音が生じるような熱源機器、外調機、発電機、ポンプ類、ファン類は屋内設置としており、騒音についても十分な配慮をすることとなります。

空調の室外機のほとんどは屋上設置となりますが、防音パネル等による騒音対策を行います。

現在の県病では、地域住民の方々からの特段の苦情・要望はありません。

(生活環境の変化への対応)

生活環境の変化に対する具体策については、本日説明のほか引き続き検討を進め、地域住民の皆さんに説明し、協議しながら進めてまいります。

≪住民合意形成≫

統合新病院の整備に当たっては、地域住民の理解を得ることが重要であり、地域との話し合いの機会は、繰り返し、建設までの間、長期間にわたって実施していく必要があるものと考えます。

本広聴会をはじめ説明会は地域住民の意見が具体的に反映される仕組みの一環と考えていただきたいと思います。

【浜田ニュータウン⑧】

【回答】

《交通渋滞対策》

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

《冬季の運用と災害対策》

(屋上ヘリポートの運用は現実的か)

豪雪地帯で屋上ヘリポートを導入している事例として、新潟県央基幹病院では、三条市（豪雪地帯（一部特別豪雪地帯））に立地し、ヘリポートとその周囲に融雪システムを導入し、降雪センサーによる自動管理によって冬季の運用に対応しています。

統合新病院においても同様の対応になると考えます。

また、現在の県立中央病院の地上ヘリポート及び県庁北棟ヘリポートについても同様の設備を備えており、常に使用できる状況になっています。

(駐車場の除雪計画)

今後、地域の声を踏まえた除排雪計画を検討、作成したいと考えています。

(盛土による周辺住宅の水害リスク)

今後、都市計画法に基づく開発協議を行うため、開発区域及びその周辺の地域に溢水による被害が生じないような構造及び能力で適切に配置されるように排水施設の設計を行います。

【浜田ニュータウン⑧】

【回答】

(地下施設を設けないメリット)

近年、水害リスクやコストなどを踏まえ、地下階を設けず、電気室等を上階に設けることが一般的となってきており、2020年以降開院した500床以上の地下階のない病院としては、中部国際医療センター、宮崎県立宮崎病院、兵庫県立はりま姫路総合医療センター、岩手医科大学付属病院、さいたま市立病院などがあります。

統合新病院については、整備候補地周辺の地盤状況（水位が高い、液状化の可能性）や水害リスクなどを考慮し、地下階を設けないこととしています。

【浜田ニュータウン⑨】

絶対に反対だし、白紙撤回して欲しい。本当にもうここに住みたくありません。

あと20年もローンが残っているのに県と市の行政はどのように接してくれるのでしょうか。

近隣住民の生活を犠牲にしてもいいという事は絶対にあってはならないのです。

全てをクリアしても様々な補償問題は発生すると思うので、その点に関してはしっかりと対応して欲しい。

意見質問につきましては別紙に記入いたしましたので、よろしく願いいたします。

知事は「浜田に病院が出来て良かったと住民の方に思ってもらいたい」と話されていましたが絶対に思いません！！

○日照権問題

法律上問題とならないよう影響のある方には丁寧に対応したいとあるが、それは当然の事で、日当たりを考えマイホームを建てたのに環境が全く変わってしまう。

全く南の日が当たらなくなる。

○騒音、振動、粉じん問題

数十メートルしか離れていない場所で解体工事→新病院建設中の数年間は悩まされ、絶対に精神的におかしくなってしまう。

近所にも犬を飼っている方は沢山います。

人間の命を守るための病院建設が小さい動物の命を奪いかねないのです。

除雪所の音にもビクビクし震え鳴く、そんな子を朝から晩まで工事が続く近くに置いておけません。

いつDr.へりが飛ぶかもわからず、心配で仕事を辞めなければなりません。

工事中の粉じんもあるでしょうから、窓を開けることも出来なくなります。

ハウスメーカーに確認したら、数年間の工事の振動で、外壁に全く異常をきたさないと言い切れないとされました。

【浜田ニュータウン⑨】

○Dr.へり問題

風圧でホコリが舞い、洗濯物や布団が干せなくなるし、屋根、庭、車、ベランダに飛んでくる可能性もあります。

すぐ近くが住宅街なのに、へりの事故が起きたらどうするのですか。

不時着が起きた場合どうするのですか。

へりが飛ぶのは日中とは言え、その音に耐えることは出来ません。

○救急車のサイレン

公園が近い静かな環境で生活がしたいとマイホームを建てたのに、24時間昼夜を問わず年間6000台近くの救急車のサイレンやDr.へりの音に悩まされ安眠を妨げられる生活をしなければなりません。

救急車のサイレン音の調整をおこなっていると消防の方から伺っているとのことですが、全く調整されていません。

村上病院やエフクリニックには月に1度か2度しか来ない救急車でも夜中の時は起きます。犬にとってサイレンの音は人間以上にストレスになるのです。

市長も局長も犬を飼っているようですので理解していただけますよね？犬も家族の一員なのです。

○地盤沈下について

現在の県病近隣では建設後に地盤沈下があったと聞きます。

村上病院建設の際は着工前と工事完了後に水平器を各住宅に持ち入れてしっかりと調査を行ってくれた。

今回も工事により影響をきたす住宅への調査は実施するのでしょうか？

工事完了後も定期的に調査をしてくれるのでしょうか？

【浜田ニュータウン⑨】

○近隣の交通渋滞について

現在でもシーナシーナの前の通りに限らず、村上病院の前の通りは朝、夕そして土、日、祝日は渋滞で家から道路に出る事ができないのに、病院が出来ると職員の方は村上病院の前を通り、ガイヤの横を通り駐車場に行く方が多いと思います。

特に東方面からの職員の方にはそこを通らず、スーパードラッグアサヒの前を通って欲しい。

○平面駐車場・敷地内のバス道路について

現在、スケート場の除雪車の振動や騒音で起きる事があるので、除雪する時間帯を住民と話し合い、しっかりと検討して欲しい。出来れば融雪にして欲しい。

また冬の暖機運転、季節を問わずでアイドリングによる排気ガスなどで窓が開けられなくなる。

○治安の悪化

「住んで良かった街、たのしく安心安全な街に」が基本方針の浜田ニュータウン町会のはずが全く変わってしまう。

住んでいる●●●●（村上病院隣り）は全戸がセコム設置、出入り口と遊歩道側の出入口にセコムの防犯カメラを設置し、防犯に気を付けているのに、治安の悪化を懸念せざるをえない。

スケート場でコンサートがあった時など、通り抜け出来ると思い、多くの車が侵入して来たり、人が入って来た、駐車違反もあった。

病院が出来ることにより、ますますそのような事が増えると思うので、看板を設置するなどの対策をして欲しい。

○防音対策について

「最もヘリポートに近い病院内への騒音対策としては、壁・窓の防音施工などが想定されます」と記載がありますが、私達の住宅の方が病院より近いです。ならば住宅にも防音施工をして下さい。

【浜田ニュータウン⑨】

【回答】

《日影対策》

日影については9ページに記載のとおりです。

日が当たらなくなることはありません。特に夏の暑い日の日差しによる影の影響は極めて限定的です。

詳しくは、【資料4-3】を御確認ください。

《騒音・振動・粉じん対策》

(工事)

工事の振動・騒音については、騒音規制法及び振動規制法の範囲内で行うことを基本として、地域住民の方に対して迷惑を掛けないよう工事を実施します。また、粉じんについても解体工事の際には水をまきながら行うなど配慮します。

(構内除雪)

構内の除雪については、35ページに記載のとおりです。

《ドクターヘリ問題》

(風圧)

ドクターヘリによる風の影響は9ページに記載のとおりです。

(緊急時の着陸について)

今後、飛行経路の計画に合わせて、緊急着陸の候補地の検討も行うこととなります。

【浜田ニュータウン⑨】

【回答】

《救急車のサイレン対策》

救急車のサイレンについては、2ページに記載のとおりです。

《地盤沈下対策》

地盤沈下が起こらないよう工事を行います。調査については、16ページに記載のとおりです。

《近隣の交通渋滞対策》

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

シミュレーションを繰り返し行って、渋滞が発生しないように取り組みます。

《治安の悪化対策》

現在の県立中央病院及び青森市民病院について、病院があることによって、周辺の治安が悪化しているというような事実はないものと認識しています。

その上で、対応を講ずる必要が生じた場合には、適切に対応していきたいと考えています。

(住居の防音対策)

統合新病院の開院まで及び開院後も、統合新病院として最大限の騒音対策を講じていきたいと考えています。

【浜田ニュータウン⑩】

▶ 周辺の渋滞緩和策が見えず。

→ サンドーム前、陸運局前通りの拡幅では対策不足。

→ バス増便も推察。冬場の更なる渋滞が予想。

▶ 新病院の入口、駐車場は？

→ サンドームとスケート場の敷地面積だけでは狭い。

→ 駐車スペース、エントランスの位置によっては慢性的渋滞。

→ その為の中央公園縮小はナンセンス。

▶ 上記より本気で病院建設するなら、道路区画整備急務

→ 南中、大野交番、牛角方面から問屋町（東奥日報ビル）方面への直通道路新敷等・・・

（その他）

▶ 白紙撤回の賛同署名方法に違和感

→ ￥＊,000のプロモーション支援！？意味不明・・・

【浜田ニュータウン⑩】

【回答】

《交通渋滞対策》

渋滞対策については、4ページに記載のとおりです。

《敷地面積について》

敷地面積については、20ページに記載のとおりです。

《新病院の入口》

新病院の出入口については、42ページに記載のとおりです。

《駐車台数》

駐車場については、立体駐車場を整備するとともに、ピーク時の入出庫における車両の滞留が一般道路に及ばないように、敷地内に一定の車両専用道路や平面駐車場を設けたいと考えています。

駐車場の収容台数については、現在の両病院合計に比べて約360台増の1,950台程度としたいと考えています。

なお、新病院のエントランスや駐車場の配置等は、渋滞が起こらないよう配慮した設計を行います。

《道路整備（大野交番から問屋町方面への道路）》

市としては、青森中央インターチェンジから市内方面への道路の取付け、問屋町方面との直結道路の整備については、現況道路に高低差があること、また盛土等により高低差を解消し道路を直接接続したとしても、一般国道7号青森環状道路の交差点と近接することとなり、円滑な交通処理や交通安全上の観点などからも困難であると考えています。

【浜田ニュータウン⑪】

ご存知のように浜田地区は他地区に比べて、たいそう病院の多い場所です。
つまり他地区に比べて病を得ている人々が多く集まっている地区です。
予定地に最接近している病院は①エフクリニック②村上病院③岩谷整形外科です。

①エフクリニック

騒音と振動によるストレスにより出産したばかりのお母様の初乳の出が悪くなります。初乳を少なく与えられた新生児は著しく免疫力が落ちます。

又お母様は3時間ごとの授乳や、出産後の体力回復の為に十分な睡眠が必要ですが、騒音と振動によって睡眠が妨げられ、特に初めてのお産の方はマタニティーブルーになり、果ては産後うつになりかねません。

不妊治療も行っています。顕微鏡下での手技は非常に繊細な神経を要するものです。騒音と振動の下でこのようなことができるでしょうか？少子化対策に逆向していませんか。

②村上病院

入院している方達は特にですが、ほとんどの時間ベッドに横になっていらっしゃいます。心身が弱っているときには騒音と振動は健常時よりもより強いストレスを感じ、十分な睡眠と休養をとれず、回復が遅くなると思われれます。

③岩谷整形外科

こちらに通院する患者さん達は身体のおちこちに痛みを訴えて来院されます。
痛みは騒音と振動によるストレスで常より強い痛みを感じられると思います。
痛みは食欲不振、心の不安をもたらす体力が弱体化します。

上記の病院だけでなく浜田地区住民が6年もの間、騒音と振動によるストレスで病気になる人々が出ると予想されます。

【浜田ニュータウン⑪】

新病院の理念としては、病を得た人々を出来るだけ健全な状態に修復して送り出す事だと思えます。
この地区に建設することによって上記の理由から病人を増やす事になると思えます。

“元気長生き青森県”短命県返上“に反しませんか！

ちなみに青森市の荒川刑務所の敷地面積は74,357㎡です。

この際刑務所には移転していただいて、広々ゆったりとした敷地で、最新の病院を建設していただくことを切に願います。

【回答】

《騒音・振動対策》

工事の騒音・振動等については、64ページに記載のとおりです。

なお、隣接する芙蓉会村上病院については、院長が有識者会議の構成員となっており、隣接することで連携が強化されるといった発言もあり、賛同は得られているものと考えています。その他の病院に対しても理解を得ながら進めていきます。

《整備候補地（青森刑務所）》

確認したところ、刑務所について移転するといった計画はないと回答をいただいています。

【浜田青葉台⑦】

私自身も看護師で、これまでも一患者、又は患者家族として両病院を利用することはありましたし、今後もお世話にならないといけません。

青市病は実際、勤務経験もあり、学生の頃からの建物なので老朽化も分かります。しかし今回のこの場所への建設は寝耳に水のような話で、この静かな住宅街に病院が建設されるとは思っていません。

現在の住居は建設予定地と環状線の間、まさに近接、隣接している場所です。今後工事を進めていく期間、開業後の騒音、交通渋滞、日照問題、救急車出入り、死亡退院者の迎えの車、感染疑い者の出入り等々、それがほぼ毎日の状態で繰り返されるわけです。スケート場はたまにコンサート会場として利用される程度なので、又土、日等限られた日数なので支障はありませんが、交通面についても道路の拡幅により解消されるよりは来院者の出入り、職員の通勤（出退勤時間）ラッシュ時、私達も通勤する為に同じ道を利用するとなると何時に家を出て、何時に家につくのでしょうか。品物を購入するように家も購入や交換が出来るものではないです。この地に住居を建てるまでも、どの方も同じでしょうが、子供や親、将来のこと、住みやすさを色々と考えて決めているはずで、説明会で多数の方が言われたように、設置する場所の検討をしていただきたいです。（他の場所への移転は考えて）

※説明する側の方達も当事者意識はうすく、次から次と後付けした資料が出てきて、最初の段階から決まっているものは初回から伝えてほしいです。

毎回、「検討します。」「伝えます。」「確認します。」「説明不足でした。」最後には「広聴会でお話します」と知事や市長に言ってもらえるのですか？という感じ。

前回依頼したことについての説明や、意見やアンケートに対しての回答も、文書又は抜すいして先に伝えてくれると親切だと思います。

【浜田青葉台⑦】

【回答】

《生活環境の悪化》

統合新病院の整備を契機として、地域の医療機関との連携を加速し、地域の住民の方にとっても医療を受けやすい環境の構築や、災害時における継続的な医療の提供といった、地域の皆様にとっても医療面での安心を提供することが可能と考えています。

また、統合新病院は公共性・公益性が高い施設であることから、統合新病院が整備されることにより、公共交通機関の充実や除排雪の優先・徹底といった、地域住民の暮らしやすさの向上につなげていきたいと考えていますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

《新たな整備候補地の検討》

民有地については、取得までかなりの期間を要することから、整備候補地とすることは現実的ではないと判断したものであります。

詳細については、12ページに記載のとおりです。

【浜田青葉台⑧】

3/1の説明会に体調不良のため参加できませんでしたが、ヘリポートにドクターヘリ以外のヘリコプター着陸も含めると説明はあったのでしょうか？以前、現状1日平均1回程度の離着陸と説明を受けましたが、新病院のあり方として今以上の高度な医療体制を検討しているように見えます。

だとすれば、私たちに説明した以上を想定しているのではありませんか？現状の説明ではなく、今後病院の機能やあり方がどうなっていく、ここではこの程度を想定していますという説明が不足しています。

浜田中央公園が洪水時の貯水池としての機能を持っている（説明会でそのように説明を受けました）のに、公園機能を維持しつつ地下駐車場などという案が出てくる時点で、この地域に関する調査不足が露呈しています。

このエリアは2000年以降の地盤調査義務化以前の住宅がほとんどです。地盤改良の杭工事もしていないと思われます。運送業者のトラックが通るだけで地震のように家が揺れます。毎日の工事車両通過ですっと家が揺れ続ける精神的苦痛や体調不良も起こりうることも検討されましたか？

私たちのアンケート提出の2日後に候補地決定、2回目の説明会の2日後に基本計画案発表なんて、地域住民に寄り添う気も無いのだと感じました。反対する側として言いたいことは山ほどありますが、きっとどんな事を言っても、工事に関するどんな調査結果が出ても候補地撤回とはならないと思うので、1万歩以上譲ってここに建てる前提の意見を言わせていただきます。

1. 他の住民の方からもずっと言われている浜田中央公園に病院を建築してほしいです。理由としては、

①敷地利用計画を見ると、道路拡幅を検討している浜田54号線側に病院正面入口がくると思われますが、この道路沿いに調剤薬局を建てられる場所がありません。県病も市民病院も病院の入り口付近に薬局があり、基本計画でも院外処方基本とするとあります。

②浜田54号線から一般車両を出入りさせる場合、右折と左折両方での侵入は現実的ではない。

右折側が曲がれないまま溜まれば、あっという間にセブンイレブンの交差点まで詰まるのは目に見えています。かといって大きく迂回して左折側に集中すると今度は環状7号線の右左折が詰まり、高速道路をくぐる右折車は先の状況が見えず高速道路下で止まってしまいます。通行量調査も1度行ったようですが、いろいろな季節・曜日・時間帯で何度も調査してほしいです。

【浜田青葉台⑧】

2. 環状7号線を走る救急車両について

高速道路があると反対車線側で緊急車両の音はほとんど聞こえません。事故防止のためにも緊急車両が来ていることを電光掲示板などで目で見てわかるようにしてほしいです。

3. 現在の県病・市民病院周辺の施設は今回の案に入っていません。

患者や家族が宿泊する施設は当然、高等看護学院、青森若葉養護学校もできるだけ病院が近いほうがいいのではないかと思いますし、今後の病院のあり方によっては他にも必要な施設が増えることもあると思います。

建築計画には「積雪期間は屋上駐車場を使用できなることを考慮し、平面駐車場も合わせて計画」、それなのに敷地利用計画では「将来の拡張性も考慮し余裕スペース（平面駐車場や緑地等として利用）を設けます」とのこと。計画に矛盾が生じていますし、上記の既存施設は余裕スペースだけでは足りないはずです。

4. 現在この地域の屋内避難場所としてスケート場がありますが、今後私たちの避難場所は？

病院ができ、そこに避難できない以上、近くに屋内避難上が無いのは困ります。知事も「来るはずのない津波というのは正常バイアスで思い込みだ」と仰っていました。だとすればスケート場が避難場所として使えなくなる前に、近距離で避難できる屋内避難所を確実に整備してください。周辺住民の命がかかわることですので、病院建設事業の一つとして含めなければいけない事だと思っています。

【浜田青葉台⑧】

【回答】

《ヘリポートについて》

ドクターヘリ以外の日常的な利用は想定していません。

《浜田中央公園側に病院を配置すること》

浜田中央公園側に病院を配置することは可能ですが、一方で課題もあります。詳細については、34、42ページに記載のとおりです。

《調剤薬局の整備スペース》

調剤薬局については、各民間事業者が必要な対応をしていくこととなります。

詳細は12ページに記載のとおりです。

《シーナシーナ前の市道と環状7号線における右折車両による渋滞対策》

それぞれ、右折レーン設置・延伸、信号現示の改良等、必要な対策を講じていきたいと考えています。

詳細は2ページに記載のとおりです。

【浜田青葉台⑧】

【回答】

《環状7号線の救急車両の事故防止対策》

救急車をはじめとする緊急自動車については、緊急かつ安全に走行するため、法令により、サイレンを備えなければならないとされており、また、緊急自動車を緊急の用務のため運転するときは、サイレンを鳴らし、かつ、赤色の警光灯を点灯しなければならないとされているところであります。

また、環状7号線を安全に走行できるよう、現場急行支援システムの導入など関係機関との協議・検討を進めたいと考えています。

電光掲示板などによる対策などについて、今後、検討させていただきたいと思っております。

《患者・家族の宿泊施設、青森若葉養護学校、高等看護学院の移転スペース》

患者・家族宿泊施設については、利用状況や今後のニーズなどを確認した上で、既存施設の利活用や市内の民間宿泊施設等との連携など検討したいと考えています。

県立青森若葉養護学校については、教育委員会において、現状の教育環境等を踏まえながら、移転の必要性も含めて幅広く検討を行っているところであります。

市立高等看護学院については、統合新病院の敷地に移転しないこととしています。

《避難場所の確保》

避難場所の確保については20ページに記載のとおりです。

本市としては、今後も、市民の皆様の安全・安心の確保に向け、公共施設のみならず、民間施設の活用も視野に入れ、連携・協力体制の構築を図ってまいります。

なお、当地域は津波浸水エリアとなっておりません。

【浜田青葉台⑨】

・基本計画の中で「地域との共生に配慮した施設整備」と記されているが、公聴会で私たち住民が出した意見、問いかけに対して1つも答えてくれたように感じられず、地域との共生に配慮できていないと思う。

何度も公聴会をしているのに、会の始まりの時に前回の意見への答えを返してくれないのは誠意のない対応ととられてしまってもしかたがないと思う。

こちらに対してのいい返事を求めているわけではなく、（できればいい返事がほしいですが、）「答え」が欲しかったのです。それがあれば広聴会をしなくてもよかったかもしれません。

・施設の配置については、やはり公園のほうに病院や駐車場を建てるのが良いと思う。

来院者の駐車場は市道浜田54号線から入ってすぐの所にあり、駐車場に入るところが混んでしまうと、市道まですぐに列ができてしまい、渋滞がおこるだろう。もう少し敷地の中央や市道から遠い方が駐車場入口の混雑があっても敷地内の道路で列になるので、市道までは列が長くなりにくいと思う。それでも54号線は拡幅が足りないと思う。冬は特に。基本計画案の中には出てきていない施設も建設されるようですが、（養護学校など）それは一体どこに建てるのでしょうか？案の中にでてくる配置図を見る限り、もう建てる場所はなさそうですが。

薬局も公園の方に病院があればすぐ近くにあるので便利だと思います。

スケート場やサンドーム側に建てるメリットが思い浮かびません。

【浜田青葉台⑨】

【回答】

《地域との共生》

統合新病院の整備に当たっては、より多くの御理解と御協力をいただけるよう努めながら、丁寧に進めることが重要であり、生活環境の変化に対する具体策については、本日説明のほか引き続き検討を進め、地域住民の皆さんに説明し、協議しながら進めていきます。

《浜田中央公園側に病院棟や駐車場を配置すること》

浜田中央公園側に病院を配置することは可能ですが、一方で課題もあります。詳細については、34、42ページに記載のとおりです。

【浜田青葉台⑩】

まずは、自分達の知らない所ですべてが決められた事はとても残念に思っています。土足で家に入ってこられた気持ちでいっぱいです。

統合新病院を建てる事（スケート場、サンドーム周辺）の現在の計画にあたって

- ・住宅と住宅の間に余裕がなさ過ぎる
- ・病院から出る臭い
- ・サンドームの前の道路だけでは、駐車場への渋滞は避けられない（普段でも朝、晩、休日、祭日は渋滞である）病院の職員、見舞に来る車を忘れない事
- ・大規模災害時の基幹災害拠点病院とするなら土地に余裕が無さ過ぎる。
- ・車両の混雑、救急車、ドクターヘリ、バス、病院に来る大勢の人の出入りの雑音

などを考えると

1. 病院は住宅地から離し公園のパチンコ店に近い場所に建てる事
2. 私たちの避難場所の確保を約束する事
3. 病院完成後、周辺の町会全ての住宅に（土地・建物）10年間の保証を設ける事（水がたくさん出る土地である為）

最後に新しく統合新病院が建てられるすばらしい機会ですので今考えている以上の事に対応出来る様にもっとゆとりのある入院している患者さんが病院そしてまわりの外観にいやされる建物、場所であってほしいです。

もう一度考えなおす勇気も必要だと思います。

【浜田青葉台⑩】

【回答】

《病院を浜田中央公園側に建設すること》

浜田中央公園側に病院を配置することは可能ですが、一方で課題もあります。詳細については、34、42ページに記載のとおりです。

《避難場所の確保》

避難所の確保については、20ページに記載のとおりです。

本市としては、今後も、市民の皆様の安全・安心の確保に向け、公共施設のみならず、民間施設の活用も視野に入れ、連携・協力体制の構築を図っていきます。

《地盤沈下等に備え町会全ての住宅を10年間保証すること》

地盤沈下対策については、8ページに記載のとおりです。

周辺地盤に影響が無いように施工します。

万が一、影響があり法的に責任が生じる場合には当然、補償することになります。

【回答】

≪整備候補地決定の経緯≫

整備場所の検討対象地として、「浜田中央公園・県営スケート場周辺」が出てきたのは、青森市の検討会議で青い森セントラルパークが望ましいとする声が多かった一方で、有識者会議においては、多くの構成員から青い森セントラルパークの交通アクセスに対する懸念が示され、外環状線周辺エリアにおいて、民有地に限らず、公有地も含めて検討対象となりうる場所がないか検討するよう求めがあったことから、県において改めて検討した結果、施設の移転等と一体で進めることにより、検討対象となりうると判断したものです。

整備候補地決定の経緯の詳細については、18ページに記載のとおりです。

≪周辺道路及び敷地内歩道の融雪設備≫

市としては、歩道融雪や流・融雪溝を中心として整備を推進している「重点整備地区」及び「誘導地区」がありますが、浜田地区については、それらの地区外となっており、歩道融雪については、整備は難しいが、道路の拡幅整備を行った場合、歩道幅員が現在より広がるので、機械による歩道除雪での対応となります。

敷地内歩道への融雪装置の設置については、費用対効果などの面から今後検討していきたいと考えています。また、融雪装置を整備しない場合であっても、除雪の徹底により歩行空間の確保に努めたいと考えています。

≪樹木等の維持及び改善≫

今後設計の中で具体的な検討を行うこととなりますが、周辺環境や既存の樹木はなるべく生かした整備を行いたいと考えています。

【浜田ニュータウン⑫】

新病院建設がスケート場のところに決定した場合の意見です。

スケート場と浜田中央公園の間の歩行者専用の遊歩道沿いに家を構えているものです。

遊歩道については維持するよう要望いたします。

自宅の裏側、庭が遊歩道側に面しています。建築時、遊歩道前提で家を建てています。

車も通れる道路に変更しないでください。

その場合、家や庭を改修（車からの目隠しやフェンス設置、高さを高くするなど）する必要があり、その費用負担は各個人となると納得ができません。負担してくれるのであれば考慮の余地がありますが、そういう道路の変更による不動産価値の変動も出るので、遊歩道のままで残置するようお願いいたします。

【回答】

《スケート場と浜田中央公園の間の遊歩道の維持》

遊歩道については残すこととしています。

【浜田ニュータウン⑬】

○建設にあたり運営部、事務局の方達は周辺住民宅の辺りがどのような環境にあるか現場を見に来たのでしょうか？

数字で何メートル離れてるからといっても、実際の視覚での圧迫感、距離感は違います。

まして盛土をしての9階建て、6階建ては景観が全く異なると思います。

その状況でただ町内会毎で分けられても、近隣と離れてる住民では意見が全く異なるし、近隣でも位置が違えば、意見が違います。

私の住宅は南側にスケート場の敷地があり、全ての窓が南向きにあるので、病院にしろ立体駐車場にしろ南側に建てば、日照も視界も遮られてしまいます。

私達の意見を無視して建設し、運営すると云うことは病院の為に犠牲になれ！と言ってるのと同じことです。

これまでの生活が180度変わってしまうのであれば、補償をして頂かないと納得できるものではありません！

工事が始まれば騒音、振動、空気汚染があります。

家の窓を全て二重サッシの設置、エアコンの設置、その電気料金、維持管理費までの補償、ドクターヘリによって舞い上がる小石や砂などで建物や車に被害が出た時の補償です。

エリア毎にしっかりと説明と補償をしてもらわないと納得出来るものではありません。

これまでの生活と同じ状況を要求する権利が近隣住民にはあると思います！

その補償が出来ないのであれば、こんな住宅街に大規模な病院建設はするものではないと思います。

はっきりとした説明と返答をお願いします！

市長と知事は選挙により当選したということは、住民の意見を反映してくれるであろう期待に寄り添ってくれるのでしょから、私の意見も無視することのない様お願いします。

【浜田ニュータウン⑬】

【回答】

≪日照・騒音・振動・空気汚染等に関する補償≫

法律の規制に則って対応することとしており、生活環境の変化に対しては、統合新病院の開院まで及び開院後も最大限の対策を講じていきたいと考えています。

なお、日影への対応については9ページ、工事の騒音・振動等への対応については64ページに記載のとおりです。

【浜田ニュータウン^⑭】

私は現在の共同経営・統合新病院に係る基本計画(案)には反対です。その上で、以下の通り要望、質問いたします。

1. 今回の住民からの意見の内訳(どのような意見がどのくらいあったのか)を公表してくださるよう要望します。
2. 今回の公聴会には、メディアを最初から最後まで入れてほしいです。この公聴会には知事や市長も来られるということで、浜田住民だけでなく他の地域の青森市・県民も関心があることだと思われます。メディアに入ってもらって中身を公開してほしいと要望いたします。
3. 以前市長が、「浜田住民懇談会には出席したいと思っていたが、知事の予定がつかないので遠慮しておりました」と発言されていましたが、知事は市から出席の要請はなかったと話されました。市長は、嘘をついたのでしょうか？
また、懇談会で、住民は知事・市長の出席を強く要望しておりましたが、その要望は知事の耳には、入っていなかったのでしょうか？
議会や検討会議等から住民へ丁寧な説明をするよう促され、仕方なく公聴会に出席するよう感じられます。
「あおばな」などと県民との対話を大切にされているようですが、自分のやることに賛成しない住民とは話す必要がないとお考えだったのでしょうか？知事、市長の説明を求めます。
4. 浜田中央公園について
浜田中央公園は、残してほしいという住民の要望があり、道路だけつくり公園機能は残すと発表されています。しかし、前回の懇談会で県の方が説明されていたように行政や病院側の都合で使えないのですよね。それを公にしないで、住民の要望をきいて残すことになったと住民のせいになっているのは、住民を馬鹿にしている態度で非常に腹立たしく思います。何故、本当のことを公にしないのですか？説明をお願いします。

【浜田ニュータウン⑭】

5. 敷地面積について

浜田中央公園が使えないため、病院建設予定地が当初の予定より狭くなりました。知事は「必要なコンパクトさ」とおっしゃっていますが、本当にそうでしょうか？本当はもっと広い敷地にしたかったのだけれど、スケート場、サンドーム跡地に建設するためにはコンパクトにまとめるしかなかったのではないですか？

また、現在の県病と統合新病院建設予定地の敷地面積を比較すると、予定地の方が3,000㎡広いと知事は会見で話されました。しかし、現県病の敷地面積には借地のヘリポート、職員駐車場の面積が含まれていないのに対し、予定地はヘリポート、職員駐車場を含む面積です。本当に予定地の方が広いのですか？

現県病が実際に使用している借地も含めた敷地面積をお答えください。

6. 建設費用について

885～966億円、この費用の中に用地取得を含む道路拡幅工事費、サンドーム・スケート場移転に係る費用は含まれていますか？

含まれていないのであれば、それぞれにかかる費用を教えてください。

道路拡幅は市の事業だからとか、管轄する課が違うからではなく、全て統合新病院建設に関わる費用だと思います。また、私たちは青森県民であり、青森市民です。税金の使い道を知る権利があると思います。

7. 病院建設工事について

具体的な工事の作業時間帯、時間、作業日を教えてください。

まだ、未定であれば、いつわかるのか教えてください。

また、作業時間帯、時間、作業日について住民への説明会は行う予定があるか、住民の要望があれば時間帯等検討・変更する考えはあるのかお答えください。

【浜田ニュータウン⑭】

8. 道路拡幅工事について

いつから工事を行う予定ですか？

また、用地買収に応じない地権者がいた場合、どうされますか？お答えください。

9. ドクターヘリ等について

具体的な進入飛行経路等はいつ分かりますか？

飛行経路等について住民への説明会は開いてもらえますか。

騒音、振動、低周波対策の一環として病院建設予定地周辺住民へ騒音振動計を貸し出し、病院建設前後やヘリ運航行前、後のモニタリングをする考えはありますか？

また、ヘリへの給油方法、給油施設を設置する予定なのか教えてください。

10. バス等について

現在、青森市東部や平内町等から浜田に来る場合、自家用車でなければ非常に不便です。新たなバス路線をつくる予定はありますか？

また、セントラル・パークの新駅からシャトルバスを運行する考えはありますか？その場合、セントラル・パーク周辺の道路を拡幅・改良する考えはありますか？お答え願います。

今回の統合新病院(案)については、住民を無視した知事と市長の密室での決定の仕方、また、都合の悪いことは隠し強引に進めようとするやり方に強い憤りを感じます。

これで、本当に市民・県民のためになる良い病院ができるのでしょうか？

確かにスピード感は必要ですが、できてしまってから問題ばかりでは、どうしようもありません。全て明らかにし、この案は白紙撤回または凍結し、もう一度整備場所から検討していただきたいと切に願います。

【浜田ニュータウン⑭】

【回答】

《住民意見の内容》

本日の会議資料において、提出された御意見・御質問を全てそのまま一覧の資料といたしました。

《マスコミ公開》

マスコミ公開で開催することとし、会場の都合上、別室でモニターにより視聴いただいています。

《住民との対話の機会》

知事としては、これまでも、県民の皆様の御意見を伺う場に参加することについては、何のためらいもない旨申し上げてきたところであり、元々、3月下旬には県民対話集会「あおばな」の開催を予定していたところです。

市長としては、以前より、なるべく早いタイミングで住民の皆様と直接向き合う機会を設けたいと考えていたところです。

これまでの地域の皆様との懇談の場において、知事・市長の出席を求める声も多く寄せられていたことから、その対応について調整し、知事と市長と一緒に浜田地区住民の皆様のお意見を伺う場として、「広聴会」を開催することとしたものです。

《浜田中央公園について》

浜田中央公園側に病院を配置することは可能ですが、一方で課題もあります。詳細については、34、42ページに記載のとおりです。

【浜田ニュータウン⑭】

【回答】

《敷地面積》

現在の県立中央病院の敷地は、職員駐車場として使用敷地やヘリポートの敷地などを含めると9万㎡以上となりますが、職員駐車場については商業高校が移転したことにより、平成29年度から使用できるようになったものであり、ヘリポートについても、平成23年度に整備が必要となり、県有地を借りて対応しているものです。

職員駐車場やヘリポートについては、立体的に整備することで、病院機能としては問題ない計画となっています。

特に職員駐車場については、現在、平面駐車場となっており、冬期間の雪かきや移動が負担となっていますが、立体化して病院に隣接させ、コンパクトにすることにより利便性が向上するものであります。

《建設費用》

現在、基本計画（案）で示している概算費用には、道路拡幅工事やスケート場・サンドームの移転経費は含まれていません。それらの経費については、今後、それぞれの基本計画等の作成段階において示していくこととなります。

《病院建設工事のスケジュール》

病院建設工事の受注者決定後、建設会社が工事計画において具体的な作業日、作業時間帯等を設定した上、住民説明会を開催する予定です。いずれにしても、今後、長期間にわたり、繰り返し、住民説明会を開催していきたいと考えています。

《道路拡幅工事のスケジュール》

都市計画道路3・4・23号浜田豊田線の整備について、まだ、事業化していないため、具体的なスケジュールはまだお示しできません。

道路拡幅については、11ページに記載のとおりです。

整備に係る用地買収については、これまでの街路整備事業と同様、丁寧に交渉し、任意による契約締結ができるよう努めていきます。

【浜田ニュータウン⑭】

【回答】

《ドクターヘリの飛行経路等》

実施設計までには飛行経路を確定し、住民に対して説明会を実施する予定です。

騒音等の調査については、今後、必要に応じて検討したいと考えています。

具体的には設計の中で検討していくこととなりますが、ドクターヘリの給油施設は地下タンクを設け、燃料をポンプアップし、屋上ヘリポートで給油することを予定しています。

《バス路線等の整備》

バス路線の整備については14ページに記載のとおりです。

今後、病院施設や周辺整備などの設計業務が進められ、市営バスの具体的なアクセスを検討できる状況となった時点で、統合新病院を経由するバス路線など、住民の皆様の利便性も考慮した上で検討していきます。

《整備候補地の決定について》

整備候補地決定時の知事と青森市長との会談については、その後の記者会見において、整備候補地決定の理由・考え方や課題解決のための具体策などについて発表しています。

会談の概要については、以下（次ページ）のとおりです。

【浜田ニュータウン⑭】

【回答】

※会談の概要

<知事>

- ・本日、統合新病院については、青森県立中央病院が担う大規模災害時の基幹災害拠点病院としての立地を最優先させ、県営スケート場周辺地区を整備候補地とすることで合意。
- ・整備運営に当たっては、県全域を対象とした高度、専門、政策医療の拠点病院である青森県立中央病院と青森地域保健医療圏の中核病院である青森市民病院の双方の機能を最大限発揮できる病院として取り組んでいく。
- ・また、これに伴う課題を解決するため、県と市が協力のもと、対策を実施することとした。具体については、西市長からお話します。

<市長>

- ・私から、課題解決のための具体策についてお話します。
- ・一点目、統合新病院の整備により移転が必要となるサンドームについては、青い森セントラルパーク地区に移転整備することを基本とすること。
- ・二点目、浜田中央公園については、現在の機能を維持し、整備を行う場合には地域住民の意向に最大限配慮すること。
- ・これらの市有施設の移転や整備等の費用については、県が市に協力すること。
- ・三点目、統合新病院の整備に伴う交通対策として、周辺道路の整備による渋滞対策や救急アクセス対策のほか、公共交通の整備に向けて青い森セントラルパーク地区への新駅整備の検討も含め、早急に県と市がそれぞれの役割を果たしながら連携して検討を進めていくこと。
- ・四点目、青い森セントラルパーク地区への新駅整備、ここからのアクセスを含め、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりに向け、県と市による検討会議を立ち上げ、青い森セントラルパーク地区を含む市街地の整備について、具体的なまちづくりビジョンを策定し、実行していくこと。

<知事>

- ・西市長からお話しいただいた4点については、県としても市と連携協力しながら進めていくことで合意している。

【浜田青葉台⑫】

住みなれた町会、静かな場所がらりと環境が変わってしまう。

救急車・ドクターヘリの騒音で安眠が出来なくなってしまう。

道路の交通量が多くなり排気ガスが体に悪い。

病院工事の建設の時に出る振動が出て地盤沈下も発生すると思う。

4回目の説明会に出席し出席するたび病院関係の事ばかりで住民の声を聞いていないようです。

知事・市長、別な場所にするよう考えてください。

【回答】

《生活環境の変化に対する懸念》

統合新病院の整備に当たっては、より多くの理解をいただけるよう努めながら、丁寧に進めることが重要であり、生活環境の変化に対する具体策については、本日説明の他、引き続き検討を進め、地域住民の皆様にも説明し、協議しながら進めていきます。

【浜田青葉台⑬】

- ・断固反対
- ・いきなり決まって、住民をバカにしている。
- ・御意見・御質問・・・の前にやることがあるだろう。
- ・ナゾのコンパクトシティ・・・何をしたいのか全く分からない。
- ・ただでさえコンパクトなのに、何をみてるのか理解不能。

【回答】

(コンパクトシティの観点から適している理由)

本市では、都市計画に関する基本的な方針である「青森市都市計画マスタープラン」の一部として定めている「青森市立地適正化計画」において、本市の発展を支える都市拠点として、これまで様々な取組を行ってきた「青森駅周辺地区」・「新青森駅周辺地区」・「操車場跡地周辺地区」・「浪岡駅周辺地区」の4地区を「都市機能誘導区域」としており、また、医療・商業施設等の既存ストックが集積している造道周辺地区・浜田周辺地区の2地区について、「生活拠点区域」としています。

このうち、「生活拠点区域」である「浜田周辺地区」における土地利用の基本的な方針としては、商業施設の集積に加え、医療施設等の生活利便性を高める都市機能が集積した生活拠点として、これら施設の立地を図るとともに、公共交通のサービス水準の向上等を図ることとして位置付けています。

このことに加え、令和4年12月に開催した共同経営・統合新病院の検討対象地に係る外部有識者からの意見聴取において、病院等の高次な都市機能を検討するに当たっては、「日本の多くの地方都市は人口減少を前提として都市計画を考えており、青森市都市計画マスタープランでは、既に青森市が持っている様々な機能や拠点を区域として定め、何か新しい施設や機能を作る際は、これらの区域に誘導しようという考えの下、都市機能誘導区域や生活拠点区域を定めている。」「新病院整備に当たっては、青森市都市計画マスタープランの考えに則るとともに、整合を図っていくことが望ましい。」との御意見をいただきました。

生活拠点区域である浜田周辺地区に統合新病院を整備することは、外部有識者からの意見にもあるように、青森市のまちづくりの方向性に適していることを評価されているところです。

【浜田青葉台⑭】

- ・立ち退きはしない。
- ・市・県に不信感しかない。住民を欺いている。無視・軽視。
- ・知事ならなんでもして許されるとでも思ってるのか？
- ・パフォーマンス好きに付き合ってもらえない。
- ・青森新時代？何をしたいんですか？

【回答】

県立中央病院及び青森市民病院は、全ての県民・市民に関わる極めて公共性の高い施設であり、また、病院という施設は、治療や入院など地域住民に対する医療サービスの提供がなされる公共性が高い施設です。

したがって、両施設が統合される統合新病院は、青森地域保健医療圏をはじめ県全体に医療サービスを提供する、全ての住民のためのものであり、県及び市にとって欠かすことのできない施設であります。

一方で、県立中央病院と青森市民病院は法定耐用年数を超過しており、老朽化等により診療にも影響を来たしかねない状況です。また、人口減少により、医師をはじめとする医療従事者が不足し、今後、医療提供体制を維持することが困難となっていくおそれがあります。

こうした施設の老朽化、医療従事者の確保などの課題に対応するため、統合新病院を早期に建設する必要がありますので、御理解願います。

【浜田青葉台⑮】

1. 整備候補地について

統合新病院の整備候補地が県営スケート場・サンドーム周辺（本候補）になったのが、県が令和6年6月市との調整ないまま、決定の過程の県・市の調整会議、有識者会議、県議会説明、市長・知事の非公開会議での9月決定延期、10町会役員への懇談会、市議会議員説明、検討会議、有識者会議、周辺2町会からのアンケート提出後の9月16日知事と市長の非公開で本候補地に決定される。

本候補地ありきで進められたと感ずる。

本候補地は生活拠点区域であり、一部道路拡幅での立退が考えられるので、計画地の敷地面積（浜田中央公園除く）と県立中央病院（職員駐車場含む）敷地面積では本候補地は手狭と思われる等総合的に見て候補地としては不向きと考えるので、民有地（買収未交渉）含めた外環状線エリアでの再検討望みます。

2. 生活環境項目について

日照権、騒音、交通渋滞等統合新病院が整備された場合想定される生活環境変化項目に対して基本計画（案）では具体的対策が乏しいので、より具体的に策定して地域住民との要望、協議をはかり基本計画に盛り込むことを望みます。

3. 県・市の連携について

統合病院の計画であるが、県・市の窓口が各々であったり、市の検討会議や県の有識者会議だったり、パブリックコメント窓口も各々だったり、その他も含めて県・市もっと連携をはかって進めることが望ましいのでは。

本計画の基本姿勢として、住民の意見も丁寧に聞き、地域住民に多くの犠牲とならないこと。
地域との共生出来るかを考慮しながら進めていただきたい。

【浜田青葉台⑮】

【回答】

《新たな整備候補地の検討》

民有地については、取得までかなりの期間を要することから、整備候補地とすることは現実的ではないと判断したものです。

詳細については、12ページに記載のとおりです。

また、整備候補地決定の経緯は、18ページに記載のとおりです。「浜田中央公園・県営スケート場周辺」ありきで進めていませんので、御理解願います。

《日照、騒音、交通渋滞対策などの具体策の基本計画への記載》

統合新病院の整備に当たっては、より多くの理解をいただけるよう努めながら、丁寧に進めることが重要であり、生活環境の変化に対する具体策については、本日説明のほか引き続き検討を進め、地域住民の皆さんに説明し、協議しながら進めていきます。

《県と市の連携》

現在も連携して取り組んでいるところであり、今後も引き続き連携していきたいと考えています。

【浜田青葉台⑬】

・サンドーム前の浜田54号線の交通量緩和について

この路線の渋滞(特に夕方の通勤時)の原因は、当初想定していなかった問屋町の幹線道路から東奥日報北側の道路に右折してくる車両が多いのが大きな原因と思われる。

問屋町側の道路は、片側2車線にもかかわらず交差点表示もなく、ここを右折するのは危険である。

また、新病院が出来ることにより浜田54号線の交通量も増え、問屋町からの右折車両がスムーズに右折できず滞留する恐れがある。

よって、環状線の交差点設計をする際、問屋町側から東奥日報北側の道路に右折できないようにセンターライン部分にポールの設置を検討していただきたい。

・ヘリコプター発着時の防音対策について

ヘリコプターの出発準備及び到着時の騒音を少しでも軽減するため、ヘリコプターの運航に支障がない範囲で屋上ヘリポートの宅地側に防音壁を設置できないか。

離発着の運航ルートとして北側の住宅地を避け、環状7号線南側に一旦出してから目的地に向かうことができないか。

【浜田青葉台⑬】

・地盤沈下について

浜田地区の地盤は、特に地下水位が高く軟弱層が深いため、荷重や振動による地盤沈下の影響を受けやすいので以下のことを考慮して頂きたい。

①県道荒川～青森停車場線に農業会館を建設した際、地下階の工事で地下水を汲み上げたことによる地盤沈下で、近隣の施設に大きな被害を及ぼした経緯があるため、地盤改良等施工方法について十分検討する必要がある。

②工事中及び新病院完成後は大型車両の走行による振動が大きすぎる為、直接環状7号線からの出入りとし、近隣の住宅地（市道浜田54号線及び軽自動車車検場北側）の道路の通行は避けていただきたい。

③現在、私の建物は対角で約20 c mほど傾いている。

この傾きは、造成時の盛土荷重及び青森陸運支局とサンドームの除排雪及び大型ダンプの走行による振動の繰り返しで、地盤が揺さぶられたことが当地区の軟弱地盤の沈下に大きく影響していると思われる。

・平面駐車場及び敷地内道路の除雪について

駐車場等の重機による除雪は騒音や振動が大きく、作業時間帯によっては睡眠にも影響し地域住民の負担が大きいため、融雪装置の設置をお願いします。

融雪装置の設置が無理な場合は作業効率が下がっても、中、少型車のロータリー車による行きの積込み等極力振動を抑えるよう配慮して頂きたいと思います。

【浜田青葉台⑬】

【回答】

《浜田54号線の交通対策について》

問屋町の幹線道路から東奥日報北側の道路への右折の際の危険性については意見として承ります。なお、実際の規制に当たっては、警察との協議も必要なため、今後検討していきます。

《屋上ヘリポートの防音壁》

ヘリポートの設置に当たっては、運航の安全確保のためドクターヘリの離着陸の運航方向及びその側面に障害物を設けられないこととなっているため、飛行経路の設定に合わせて、必要な対策を検討します。

《住宅地を避けた運航ルート》

現在でも日常的に住宅地の上空をドクターヘリは運航しています。今後も安全に留意しながら運航することになります。

《地盤沈下対策》

地盤沈下対策として、地下水の水位に影響が出ない工法を検討しており、地盤沈下が発生しないよう万全の対策を講じたいと考えています。

また、工事車両の進入路・経路については、周辺に影響がないように検討したいと考えています。

《構内融雪・除雪》

構内の融雪装置の設置については、今後検討していきたいと考えています。

なお、融雪装置ではなく、除雪による作業となった場合でも、周辺住民と協議し、時間帯等を決定したいと考えています。

【浜田ニュータウン⑮】

基本計画についてですが、統合することを一つの前提として検討しておりますが、私の意見は、素人の意見として聞いて頂きたいと思います。

「2023年度 病院経営定期調査概要版」によれば、赤字に陥っている病院の組合は、2021年度で65.8%、翌2022年度は72.8%にまで増加しております。原因として、医療従事者の不足や人件費の増加、物価高により経費が増大していることなどが考えられるそうです。

全国的に、病院経営は、赤字経営に陥っているようです。

全国的に、大きい病院は、大きく倒産傾向にある事も耳にします。

先日、東奥日報の新聞によれば、むつ市の病院も、9億円の赤字運営。むつ圏域は、人口5万人弱で半分が高齢者であります。むつ市一つとっても、耐久性を理由に190億の病院を建設して、何割か県にも負担して欲しい事で、新聞掲載して検討に入っておりますが、最終的には、400億以上の建設高騰にて断念せざるを得ない状況にあります。

大きな病院を建設したら、医師を確保できて、素晴らしい検査設備を整備し治療する事ができて、安心して地域の方が暮らせる事と考えていると思いますが、定住するきっかけで長生きするではないか？と思われると思いますが、これは、全て税金に賄われる事です。

むつ市で考えると、50%は高齢者なので、30年度は、いなくなる方が大半で、人口減少になっていくために、病院を維持する事が大変になり、病院を維持するために、県民の税金等を使う事になります。

負の連鎖になると思います。

【浜田ニュータウン⑮】

統合する事による、市民の影響について
課題

- 1 地域づくりに影響する事
西側に集中するので、東側の地域づくりは、落ち込みます。
- 2 東側に住んでいる市民が不便を感じると思います。
様々な視点で。
- 3 これから、人口減少があり、西に集中している病院への通勤が大変である事
- 4 待ち時間が今以上になり、青森市に住んでいる事に不便を感じる事
- 5 世界一の大雪が降る青森市なので、病院を西側に集中することで、70歳以上の免許がない方がこれから多くなるために、通うだけでも、通院にお金がかかり、それをきりつめなければならない生活を想像します。
雪が降る時期は、特に、通うのに大変苦勞をかける事になると思います。
青森県は、低所得者が多いです。
冬の電気代は、倍かかります。病院が西側に集中すると、通うお金を切り詰めると思います。
そうすれば、食のバランスが摂れない方が多くなります。
病院に行く事が遅くなります。 → 早期発見が遅れます。
最後には、自死する方も多くなります。そして、青森市を住みにくく感じ、離れる若者が多くなると思います。
町が死にます。
病院を維持する税収がとれなくなり、維持するために、赤字経営を補填。
補填する税収は、本来ならば、もっと、予防に使うべきと思います。
- 6 浜田の道は、狭いです。道が今でも渋滞して、緊急の場合などは、大変な状況になると思います。

【浜田ニュータウン⑮】

対策として

イメージとして、青森市役所が、様々な機能を分散型にする事で、どこにいても手続きができる事と混雑をさける事ができる事。市民に公平に、対応する事ができる事。

これからは、人口減少になるために、市役所も分散型自治体にする事で、市民の声を広く聞ける体制と、市民の足に負担のないようにする地方の新しい形だと思います。

分散型にする事で、建設費用を安くできると思います。なので、

分散型 統合病院

分散型のメリット

- 1 地域のまちづくりに影響なく、どこにいても、地方ならではの足に影響なく治療を受ける事ができる。
- 2 混雑をさける事ができる。
- 3 人材確保をしやすい。
一つの大きな組織になると、人材を維持するのに、教育するのも影響がある。
分散型の集合体とする事で、より患者に寄り添ったケアができる。
医師も確保しやすいと思います。
- 4 市民に寄り添った病院ができる。

これからは、大きな病院は、古い体質で、個々の価値観を重要視する今の時代にそわない病院の体制だと思います。
分散型にして、役割を明確にして、渋滞と設備投資をさける。
メリットだらけだと思います。

【浜田ニュータウン⑮】

【回答】

《分散型統合新病院》

県立中央病院と青森市民病院は、地域において急性期医療や政策医療の基幹的役割を担っていますが、医師をはじめとした医療従事者を十分に確保していく事が難しいなどの課題を抱えていたところでした。

こうした状況を踏まえ、両病院のあり方検討協議会では、医療資源の集約を図るため、共同経営の上、統合新病院を新築整備することが最も望ましいとの提言をいただいたところでした。

青森県立中央病院と青森市民病院の統合新病院の整備により、両病院の機能・資源を集約・充実することで、

- 両病院の課題である医師をはじめとする医療従事者を集約することにより、診療体制を充実・強化できること
- 県立中央病院に比べて病院規模が大きくなることで症例数・手術件数が増加し、医療技術の向上が期待できること
- 医療従事者の集約が期待でき、安定した医療提供体制が確保できるとともに、医療従事者の派遣などによる地域医療支援の強化が図られること

など、様々なメリットが期待できるものと考えています。

【浜田青葉台⑰】

- ・病院の建設をはじめる前にサンドーム前の道路を拡幅してほしい。
- ・地盤沈下（近辺、住宅地等）の調査をしっかりと進めてほしい。

【回答】

《渋滞対策（市道拡幅）》

サンドーム前の（都市計画道路3・4・23号浜田豊田線）については、11ページに記載のとおりです。

都市計画道路3・4・23号浜田豊田線の整備について、まだ、事業化していないため、具体的なスケジュールはまだお示しできません。

《地盤沈下対策》

地盤沈下については、8ページに記載のとおりです。

工事前後に整備候補地周辺の建物の傾きやひび割れなどの状況について建物調査を行い、工事に伴う影響の有無を確認することとしています。

(参考) 【板橋①】

共同経営・統合新病院の基本計画(案)や次世代のためにも県・市全体「まちづくり」にも反対ではありません。
高齢化・少子化、人口減少、厳しい雪対策etcいろいろ変化に対応し、未来構想にも感謝申し上げます。意見として

- ①候補地が唐突な発表で政権交代と重なり丁寧な説明の欠如で誤解が生まれた。
不信感から信頼不足となり、確定しているのに会合がパフォーマンスととらえられたと感じる。
- ②地域住民の生の声が反映されず、質疑応答を聴く都度、反対や裁判となり延期にならない話し合いを祈ります。

【回答】

《地域住民の生の声の反映》

統合新病院の整備に当たっては、地域住民の理解を得ることが重要であり、地域との話し合いの機会は、繰り返し、建設までの間、長期間にわたって実施していく必要があるものと考えています。